

荒川区立幼稚園の方向性について（素案）に関する
パブリックコメントの実施結果について

- 1 意見募集期間：令和4年7月1日（金）から7月14日（木）まで
- 2 閲覧場所：学務課、情報提供コーナー、区ホームページ
- 3 意見提出者：261名（内訳）持参45名、ファクス6名、郵送1名、メール14名、
電子申請195名
- 4 意見の内訳

（1）全体に関する意見	
全体についての意見	17件
スケジュールや進め方についての意見	33件
（2）区立幼稚園の教育内容の充実に関する意見	
質の高い幼児教育の実現についての意見	24件
特別な支援を必要とする園児の受入れについての意見	36件
幼小連携教育の今後の取組みについての意見	12件
学級編制基準についての意見	20件
預かり教育の拡大・給食提供等についての意見	61件
送迎の支援についての意見	22件
園運営の見直しについての意見	9件
施設の有効活用についての意見	7件
教員の再配置についての意見	7件
（3）地域バランスに配慮した再配置に関する意見	
再配置園の選定の考え方についての意見	40件
閉園についての意見	137件
（4）私立幼稚園との連携に関する意見	
私立幼稚園との連携についての意見	6件
特別な支援を必要とする園児の受入れについての意見	14件
私立幼稚園の費用負担についての意見	5件
（5）その他の意見	
PRの充実についての意見	12件
その他の意見	14件
合 計	476件

- 5 意見の取扱い

最終案に反映する	45件
既に記載済み	17件
既に実施している	46件
参考として受け止める	368件

6 提出された「意見の概要」とそれに対する「区の方考え方」

	意見の概要	意見に対する区の方考え方	取扱
(1) 全体に関する意見			
全体についての意見			
1	様々な環境の変化により、区立幼稚園に関わる諸課題が生じ、その解決を目指して方向性(素案)が示されたことは評価する。	子どものための支援と保護者のための支援は、誰もが生き生きと暮らしていくために必要不可欠な要素であり、共に大切にしながら更なる幼児教育の発展を目指してまいります。	
2	預かりは17時だと働く親は預けられないから18時までは預かって欲しい。給食の提供もいいと思う。そのために区立幼稚園が減ってもいい。		
3	全面的に賛成する。		
4	共働き世帯の増加、少子化などの時代背景を踏まえると、公立幼稚園を減らすことや預かり教育を拡充することについては、理解できる。		
5	預かり教育と給食提供、再配置によって区立幼稚園が減るのは理解できる。		
6	素案を読ませて頂く限りだと、所々保護者のニーズやサービスに合わせて等と書かれており、実際通う子どもの気持ちなどが蔑ろにされてるように見受けられる。特にケアを必要とする子ども達が保護者のニーズによって一番犠牲になっていないか不明瞭である。		
7	私立幼稚園と連携や支援が必要な子どもの受入れ、延長保育の開始時期など、検討ではなくしっかりとした数字を出してほしい。	預かり教育の全園での実施、給食の提供につきましては、以前より要望がありました。最終案に記載のとおり、給食の提供につきましては、早期の実現を目指してまいります。一方、預かり教育につきましては、教員の再配置とともに実施してまいります。また、その他必要と認められる支援につきましても、積極的に検討してまいります。	
8	もう少し明確に情報を開示してほしい。		
9	何一つ今後の話が決まっていないのに閉園だけが決まっていることに非常に残念に感じる。子ども達、保護者達に我慢を強いるのに、何が改善されるのか、8月末に決定となる前に提示してほしい。		
10	区立幼稚園をただ廃園にするだけでなく、荒川区から他の区へ流れ出ている園児の数や理由の把握、荒川区内幼稚園へ行ってもらうための対策、魅力的な園づくりなどを注いでほしい。	最終案に記載のとおり、新たな支援を着実に実行すること等により、区立幼稚園が目指すべき方向性を実現することで、区立幼稚園を必要とする人に選んでいただけるものと考えます。	

11	<p>幼児期の発達にはバラつきがあり、特に支援が必要な子どもにとっては、個別的な対応をする場面が多くある。全ての子ども達が安心して過ごせる場所、不安にならない長さの保育時間等を確保することは、引き続き区立幼稚園に担ってほしい。</p>	
12	<p>区立小学校との連携がとられていることは、区立幼稚園だからこそできる意味のあるものである。また、教育時間が短い分、教員が時間的余裕を持って子どもに接することができ、のびのびと教育に取り組むことができ、子どもたちの自由な発想を生み自主性を育てている。</p> <p>今の区立幼稚園ならではの良さがたくさんある。育てる親に便利なことだけでなく、子どもをきっかけにたくさんのふれあいが生まれることも、子育てを応援する区の大きな特徴、売りになる。</p>	<p>区立幼稚園はこれまで多くの保護者や地域の方々等に支えられ、幼稚園教諭をはじめとした職員が、一人一人の子どもたちに丁寧に向き合い、自らも研鑽を積みながら、区立幼稚園の幼児教育を担ってまいりました。このことは区が誇れるものであり、区民の皆様から多くの支持をいただいている所以と考えます。</p>
13	<p>園バスや給食は便利だが、毎日のお弁当作りや送り迎えは、この幼稚園時期にしかできない貴重な体験で、送り迎え時に担任から今日の出来事などを聞く事もでき、親としても良い経験である。保護者参加型のイベントも多く、この時期の子供と関わる貴重な体験ができる。</p> <p>このように素晴らしい区立幼稚園をなくさないでほしい。</p>	<p>しかしながら、社会環境の状況の変化とともに区立幼稚園の園児数が減少を続けていることも事実であり、区として最善の対策を講じる必要性は高いものとも考えます。</p>
14	<p>今は両親共に忙しく働く人が多いとは思いますが、小さい子どもと過ごす時間というのは限られている。弁当やお迎えの煩わしさを感じるかもしれないけれど、幼い子ども時代にしかしてあげられない貴重な時間もある。</p> <p>長い時間預けられるのは親として楽ではあるが、親と子の時間を尊重し子どもたちの心が満たされる子育てのできる区立幼稚園のような場所も必要である。</p>	<p>これまで積み重ねてきた全ての教育活動は、閉園とともに無くなるのではなく、他の区立幼稚園に引き継ぎ、発展させ、区立幼稚園が目指すべき方向性を実現してまいります。</p>
15	<p>子ども教育は未来への投資である。小さな子どもがいる家庭が孤立することのない、荒川区に住んで良かったと思える教育環境を今と変わらず続けることを強く望む。</p>	

16	<p>教員の研修体制が整っているため、最新の幼児教育を学んでいる点、広い園庭でいつでも自由に遊べる点、遊びを発展させるための道具や態勢が整っている点、保護者との距離が近く、毎日園での様子を伝えてもらえる点、制服がなく子どもにとってストレスフリーである点、人数が少なく目が行き届く点、先生方に精神的なゆとりが感じられる点、その他どこを切り取ってみても、区立幼稚園の素晴らしさを感じている。</p>	(前ページの続き)		
17	<p>地域のこどもは地域で見守り、事件の抑止になる。子どもだけではなく親同士のつながりも密になることは地域の繋がりが強くなることでもある。現状の8園でこども達を荒川区の宝物として育んでほしい。</p>			
スケジュールや進め方についての意見				
18	<p>現在通園させている保護者に何の説明も無く議論している事に、憤りを感じる。</p>			
19	<p>これから園を利用しようと思っていた方々はどのくらいこのことを知っているんだろうと思う。もっと色々な方法で周知させるべきではなかったか。意見を募集する期間も2週間は短すぎると思う。</p>	<p>素案の公表やパブリックコメントの募集開始までのスケジュールが急であるとのことご指摘でございますが、昨年度は学級編制基準に満たない学級があるなど、区立幼稚園の園児数が減少し始めた頃からこれまでに保護者等関係者間や区議会におきましても対応を検討してまいりました。区といたしましても、これ以上の園児数の減少に関しまして関係者の皆様にご心配をおかけするわけにはいかないと考え、更にこれまで預かり時間の延長や給食の実施につきましてご要望を頂いておりますことから、対応策をお示しさせていただきました。</p> <p>また、区議会への報告や意見の広聴につきましては、規定に則り適正に進めております。</p> <p>皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、区立幼稚園をより充実させてまいりますので、何卒、ご理解・ご協力をいただきたく存じます。</p>		
20	<p>まず区民が納得のいく説明をしっかりと欲したい。ホームページに小さく目立たない場所に載せた素案では、目にする人はごくわずかだと思う。ほとんどの人が気付かないうちに、強制廃園となることは反対。</p>			
21	<p>もう少し区民の声を聞いてほしい。廃園のお知らせが簡易すぎる。子育て世代に廃園案の話が届くよう個別にお知らせを出すか、区の広報に載せてほしい。周りの人達は知らない人が多すぎる。</p>			
22	<p>区立幼稚園が縮小されつつあるのに在園児や入園希望者に対して説明がきちんとされているのか。</p>			
23	<p>まずはこの急なスケジュールだけでも再検討願いたい。</p>			
24	<p>どうしてこんなにも突然の閉園の話になったのか。</p>			
25	<p>いきなりの廃園案に対して区民の意見を聞くにも期間が短すぎる。区民への説明を行ったうえでパブリックコメントにすべきではないか。</p>			

26	<p>区民の意見を全く聞いていない。7月初めにいきなり廃止することを伝え、2週間という限りなく短い期間に、区民の意見を募集し、廃止予定の幼稚園の10月の募集要項にそのことを載せるといことは、あまりに横暴すぎる。その募集要項を見た保護者が、入園を選択するとは思えない。本来、区民の意見を聞いてから、今後の対応をすることが、区民の為の議会だと考える。それも、将来ある子ども達のことであるので、しっかり期間を取り、区民の声を聞いてから、対応していただかないと納得できない。</p>	(前ページの続き)	
27	<p>もっと時間をかけて議論すべきと思う。パブコメの募集も形だけのように思う。</p>		
28	<p>あまりに性急な内容であり、区民の意見を全く聞き入れていない。</p>		
29	<p>あまりにも性急すぎる再配置実施のスケジュールに驚いた。6月29日の区議会において、平成8年度からこういった話しはあったと答弁があったが、我々区民がこの話しを聞いたのは、ほんの2週間前である。いくら長年綿密に話しが進められてこようとも、最終的な区民への素案がこうなるのか、と区民としてはむしろショックが大きい。</p>		
30	<p>こんなに短期間で決定に持ち込もうとする荒川区を見損なった。</p>		
31	<p>幼稚園より保育園の需要があるのは理解できるが、区立幼稚園には区立幼稚園の良さがある。入園人数が減ってるからといっても、余りに急なことなのでもう少し時間をかけて、再考案すべき事だと思う。</p>		
32	<p>廃園を検討するにしても、突然半分の4園では、急ぎすぎる。正直、荒川区は子育て世帯を大事にしてくれないんだなと感じてしまう。子育てしやすい区と評判だったのに、このままでは区内の子どもが減ってしまうのではと心配である。</p>		
33	<p>突然「統廃合」の話が出てきて、説明不足を感じる。統廃合することによるメリット・デメリットをきちんと示すべきではないか。これでは区政が一方的に統廃合を進めているとしか思えない。現在幼稚園に通う、または今後通う予定の保護者に対する説明も不十分。区民がより良い生活を送るためにも、もう少し丁寧な議案進行を求める。</p>		

34	<p>素案の通りの令和8年での廃止では、現在入園している家庭の卒園を待たずに子ども園が廃止となってしまうため、こども園の良さを鑑み、廃止を中止、少なくとも令和12年以降の廃止とすべきであるとする。</p>	<p>(前ページの続き)</p>			
35	<p>公教育を保障することは自治体の責任だと思う。今後の方向性については区民の声を聞き、計画をたてていただきたい。今回の素案を早急に決めたり、募集要項への記載はしないでほしい。</p>				
36	<p>あまりに唐突であり、区民の声も聞かずに方向性を決めていく姿勢におどろきと共に横暴さを感じた。</p>				
37	<p>決定と急に言われ戸惑っている。廃園し、区立が近くにない保護者の気持ちは考えているのか。</p>				
38	<p>素案が公に出てから閉園予定の令和8年度まで、期間があまりにも短い。説明会にて、閉園した後の幼稚園の跡地の使い道や存続する園での受け入れ体制などがまだ曖昧で完全な説明が出来ない中で、何故閉園予定は令和8年度と決まっているのか。</p>				
39	<p>6月末に素案を発表し、10月初旬には廃園予定と周知するこの期間の短さはなぜか。意見を聞いて検討するのが3か月程度で充分だと考えるのか。</p>				
40	<p>まずは幼稚園ニーズが減っていると言うなら利用者の声を具現化して、結果が出なかった時に閉園の話し合いがでるべきだと思う。</p> <p>少子化問題と言う割に少子化になるような事しかしない、行政には本当にかっかりしている。</p> <p>そして大問題は、通わせている保護者はじめ地域の方々へ積極的に周知をせず、ひっそりと可決させ閉園させようとしているとしか思えないことである。</p> <p>区報・区のWEBサイトのトップページ及び保育園ページのわかりやすいところに、素案の詳細を公開すべき。A4の用紙が園にも掲示されていたが、幼稚園の方向性についてというタイトルのため、保育を利用している保護者は、関係ない内容のものとする。廃止・閉園についての素案としっかりと告示すべきである。(2件)</p>				

41	<p>1点目。大まかな方向性については理解出来たが、こちらの素案だけで賛否を判断することが出来ない。例えば4園閉園することにより既存園でどれだけの人員増加が見込めるのか。支援が必要な児童の受け入れが増やせそうなのか。等を「数値」で具体的に表示していただけないと、閉園の痛みと比較することが出来ないと思う。ここでいう数値とは「予算・財源」「人員数」「児童数」のことである。</p> <p>2点目。議論する期間が短いと感じている。重要な議案だと思いますので、もう少し時間をかけて判断してはどうか。1点目とも重なるが区民へのもっと丁寧な説明を希望する。</p>	(前ページの続き)	
42	<p>来年度の入園募集に向けて、現場の先生方とPTAも一丸となっているところである。このように大事な部分が不明瞭な計画のまま周知されるのは心外である。せっかく当園に入園を希望してくれている方々も不安にさせてしまうし、気持ちが離れてしまう。区立幼稚園をもっと充実させたいと思ってくださっているのであれば、しっかり計画を示した上で周知してほしい。この素案では現場の熱意ある先生方にも失礼であるし、保護者としても馬鹿にされている気分である。幼稚園を決めるために、保護者の方は年度はじめから動いている。周知するならば、せめてそのタイミングではないか。</p>		
43	<p>この件はとても決定するまでが短期間で理解しがたく受け入れることができない。違ったやり方でみんなが納得できる方法があったのではないか。保護者や地域の方、区民の声を聞いてからでも遅くないと思う。</p>		

44	<p>公立幼稚園の廃止について、財源に限りがあること、集団保育の成立など様々な要因から統廃合がやむを得ないことは理解している。</p> <p>とはいえ、1.今後の公立幼稚園にどのような機能を持たせていくのか(例えば、現在で言うならば、町屋幼稚園に関しては幼小接続、日暮里幼稚園は預かり教育など) 2.幼児が育つ物理的環境としてより適切な園はどこなのか(園庭や保育室の広さ・地域防災や安全の観点など) 3.質の高い幼児教育をどのように実現していくのか(私立幼稚園や保育所等との連携や、特別な配慮を必要とする子どもの保育を含む) 4.公立幼稚園の募集や宣伝のあり方 など、公立幼稚園・こども園のあり方を考える期間もなく、廃園する園の候補を先に決められてしまうのはとても残念である。</p>	<p>区立幼稚園は各園で様々な活動や取り組みを実施し、一人一人の園児の身心の成長をきめ細やかに支援しております。今後も支援を続けていくために、また園児や保護者等関係者の皆様のご心配をできるだけ取り除きご負担を減らしていくためにも、区立幼稚園の方向性をお示しすることは必要であると考えます。</p>	
45	<p>区立幼稚園に求められる機能を把握しながら、それを各園に取り入れる機会や思案もないまま、廃園の具体的な理由も分からず、廃園へのガイドラインだけが出来上がっているのは、卒園生の親として腑に落ちない。</p>		
46	<p>コロナによる閉鎖的な社会の影響により、精神的に課題がある子どもが増える傾向にあると認識をしている。公的な役割として、しっかりとサポートする為にも、区立幼稚園を存続させておく必要があると考える。今は、大きく変化する時、判断を3から5年(期間を決めて)ずらすべきと私は考えている。子どもへの教育、サポート、とても重要な課題。この社会の変化、先が読めない状況。今は、判断すべき時期ではない。</p>		
47	<p>区立幼稚園存続のためには、子ども達の心の育みを重視した保育・幼児教育を目指し、預かり教育や給食などの導入は子ども達を取り巻く家庭環境の変化に応じて必要不可欠と思う。また、私立幼稚園と同じ地域の子ども達を育む目的を同として、一緒に模索し、よりよい方向へ検討していくべきかと思う。どんな子ども達も区立でも私立でも希望の園を選択できる形を望む。</p>		

48	<p>素案において、区立幼稚園に求められる機能の一つとして、「就学前教育と小学校教育の円滑な接続ができるよう、小学校との一層の連携強化が求められる」とある。</p> <p>町屋幼稚園と第七峡田小学校との就学前教育と小学校教育の連携事業については、同園・同校が「一心同体」となって実施しているといえる。仮に町屋幼稚園が閉園となると、その影響は同園関係者だけではなく、パートナーかつ当事者である第七峡田小学校関係者（児童・保護者）にも及ぶ。</p> <p>この観点から、荒川区におかれては、第七峡田小学校の保護者を対象とした説明会を開催し、この度の素案についての説明とともに、意見聴取の機会を設けられたい。</p> <p>素案は区立幼稚園に関するものであるが、その影響範囲は区立幼稚園にとどまるものではない。特に、現在進行形で幼・小の連携事業を実施している町屋幼稚園と第七峡田小学校においては、町屋幼稚園の存続可否の結果が同小学校の教育に与える影響に鑑み、同小学校保護者への説明を実施するよう強く要望したい。</p>	<p>各園で取り組みを進めている活動等におきましては、閉園後に全て無くなってしまいうのではなく、これまでの成果を残し、次の段階へ繋げていくことを考えることが区の責任であると考えます。</p>	
49	<p>汐入こども園の入園を希望している。保育園の立地なども視野に入れ子育てを進めていた。令和6年入園の年少受け入れ児の卒園と共に閉園とあるが、現在すでに入園済みの0歳児及び、現在入園準備を進めている0歳児は、年長の時に転園を余儀なくされる。発表から実施までの期間が短いかと思う。またもう一年閉園を延期する事を検討してほしい。</p>	<p>汐入こども園は短・中時間部分のみ廃止としており、長時間部分につきましては、継続してご利用いただくことが可能でございます。</p>	

(2) 区立幼稚園の教育内容の充実に関する意見		
質の高い幼児教育の実現についての意見		
50	<p>幼児教育の向上の為に地域バランスに配慮した園の配置とあるが、今ある園を減らさず、どの園でも預かり教育ができる環境を整えていき、子ども達を一ヶ所に集中させないことが、ひいては幼児教育の向上に繋がるのではないか。</p>	<p>預かり教育の実施にあたっては人的要素が大きく、教員の再配置とともに実施することが適当であると考えます。更に、集団教育の重要性を鑑み、一方で一人一人の園児へのきめ細かな支援や園児同士の関わりの中で、子どもたちの身心を育むことが重要であると考えます。</p>
51	<p>特別支援が必要な児童を残る4園にまとめることが、ボーダレスな教育につながると思えない。</p>	
52	<p>質の高い幼児教育の実現について、おおむね素案内容でよいと思うが、一クラス当たりの人数は30人以内で、単任と副担任、補助の先生数人が欲しい。今の区立幼稚園の体制は理想的。</p>	<p>区立幼稚園は就学前の子どもたちの教育の基礎を培う場であり、集団の中で生活することは重要な体験です。幼稚園設置基準には、一学級の幼児数は35人以下を原則とする旨が明記されており、区立幼稚園における35人学級は適正なものと考えます。また、教員や補助員につきましては、一定の基準に従い適正に配置しております。</p>
53	<p>小学校と併設している園では、小学校との連携も取れ、進学するにあたって、特別な支援が必要な園児にとっては先生方の理解を得られるのではと思う。保護者も安心出来る。</p> <p>それ以外にも、小学校の行事に参加する機会や、触れ合う機会などもあり交流が取れ、集団活動、質の高い教育の実現が可能なのではないか。</p>	<p>小学生との交流は園児にとって成長を促すよい体験であり、いわゆる小1プロブレムの解消にも有効です。園の再配置後も、連携する小学校等との交流の機会を確保するなど、質の高い幼児教育を実現してまいります。</p>
54	<p>「質の高い幼児教育」について素案には特別支援と小学校への接続についてしか記載がない。</p> <p>現在は小学校との連携に取り組んでいるが、今以上に特別支援児ばかりになった園でそれが可能と考えるか。「集団教育が大事」とのことだが、特別支援児ばかりの、しかも小学生より若い幼児のクラスで、集団での教育がどの程度成り立つと考えるのか。机上の空論ではないか。2つを並行して強化していくことには大きな矛盾を感じる。</p> <p>幼児期の教育が就学後、その後の子どもたちの育ちの土台となる。幼児教育を軽視したことで、より多くの教育課題が現れ、小学校以降の教育は今ほど高いレベルで保てなくなる、そういった覚悟はあるのか。</p>	<p>特別な支援を必要とする園児につきましては、一定の配置基準に沿って補助員を配置し、集団での活動における支援を行ってまいりました。今後は、各園での取り組みなどを、研究会等で共有する場を持ち、実践例を積み重ね、各園での教育活動に活かしていくことをお示ししております。さらに、特別な支援を必要とする園児が増えることも考慮し、体制の見直しを検討しております。</p>

55	<p>取り組み内容等を園長会や研究発表会等で公表し、質の向上を測ることを掲げているが、各幼稚園のホームページには、園内研究の概要については記載があるが、その成果についての記載がなく、教育関係者以外の保護者や区民は、現状この内容の詳細を確認できないように思う。各園で独自の取り組みを実施していても、それにより子どもたちの成長や教育に与える影響等が十分に検討されていないければ、取り組みの良し悪しが判断できない。研究発表会への一般参加を認めていただいたり、レポートや論文などで成果を公表するなどして、各園の取り組みが質の向上に繋がっているのか、幼稚園の取り組み成果の見える化をしてほしい。</p>	<p>区立幼稚園のホームページに掲載している園内研究につきましては、教育活動の内容の紹介として掲載しており、成果につきましては、これまでホームページでの公表は行っておりませんが、園内もしくは研究発表において区立幼稚園間等で共有し、各園のその後の活動に活かしております。</p>	
56	<p>自然と芸術の繋がりシュタイナー教育やモンテッソーリなどの教育方針を取り入れてほしい。</p> <p>幼児期こそ人間の時間の大事な時間である。未来を作る子ども達には、大人の目線の預かりや給食よりも、子ども達がたくましく生き生きと生きてゆける土台づくりができる場を提供してあげるべきだと思う。</p> <p>少人数制で自然と芸術と繋がる経験のできる幼稚園がよい。</p>	<p>区立幼稚園におきましては、「健康な子」「考える子」「思いやりがある子」など、各園で教育目標を掲げ、様々な遊びや体験を通して、園児が身心ともにのびのびと成長することができるよう取り組んでおります。</p>	
57	<p>どんな子どもでも受け入れ、質高く育ててくれる区立幼稚園。縮小された後は、それを維持した保育がなされるか。</p>	<p>これまで保護者の皆様や関係者の皆様にお力添えをいただき、幼稚園教諭をはじめとした職員が、一人一人の子どもたちに丁寧に向き合い、自らも研鑽を積みながら、区立幼稚園の幼児教育を担ってまいりました。また、外部から講師を招き、より深い学びに繋げております。その成果として皆様から区立幼稚園の教育の質の高さについて肯定的に受け入れていただいておりますことに、感謝申し上げます。</p>	
58	<p>区立幼稚園の幼稚園教育は大変優秀で、子どもにとって、何が最善であるかをいつも考えて、一人ひとりの個性を大事にした保育サービスを提供してくれている。これから先、預かり保育を開始しても、区立幼稚園の質の高い教育を引き続き行ってほしい。</p>	<p>今後安心してお子さまをお任せいただけるよう、また区立幼稚園で教育を受ける機会をより多くの皆様に選択いただけるよう、情報の発信や運営の工夫をしながら、質の高い幼児教育の実現に取り組んでまいります。</p>	

59	<p>どのようなことを行えば質の高い幼児教育となるのか。私立幼稚園のように習い事を色々体験できることなのか。</p> <p>区立幼稚園は子どもたちのやりたいことを好きなように体験させつつ、お友達との協調性や集団行動の大切さ、人とのコミュニケーションのとり方などを、園児それぞれの成長スピードに合わせてくれていると感じている。</p> <p>技術や知識の習得も大切だが、園児の成長を先生と保護者がしっかり連携して見守ることができる区立幼稚園は、必要である。</p> <p>また発達障害などもある子どもたちも一緒に園内で生活することができ子どもたちも差別することなく優しい気持ちを持って接することを自然と身につけている。</p>	(前ページの続き)	
60	<p>区立幼稚園は子どもの個性を尊重し、どんなお子さんでも生き生きできる場所であり、それは指導に当たる先生のおかげである。支援が必要なお子さんも決して見放さず、最後までサポート出来、まわりと同じように幼稚園生活が送れるのも区立幼稚園ならではのと思う。</p>		
61	<p>子どもたち一人一人に向き合ってくれ、いろいろな経験をさせてもらえる。質の高い幼児教育をしていると思う。</p> <p>町屋幼稚園は幼少連携のモデル園のはず。七峡小の敷地内にあり、環境は整っている。できればもう少し踏み込んだ幼少連携を進めて欲しいところである。</p> <p>幼少連携は大事な取り組みだと思う。区立幼稚園だからこそ、先生方を含み質の良い教育ができるのだと思う。</p>		
62	<p>区立幼稚園の基盤は小学校に入ってからとても良い成長が見られている。そもそも質の高い幼児教育であると思う。</p>		

63	<p>入園当時娘の幼稚園は近くの私立幼稚園と決めていた。幼稚園はどこも同じだと思っていたため近くで給食のある私立幼稚園で良いと。</p> <p>しかし、多くの幼稚園を見学して考えが変わった。区立幼稚園の教育水準の高さ、教員のスキルの高さ、園児への手厚さに驚いた。「遊びから学ぶ」という区立ならではの教育方針は荒川区の宝といえる。</p>	<p>(前ページの続き)</p>		
64	<p>荒川区立幼稚園において行われてきた教育実践については 確かな実績を築いているものと区民は認識している。</p>			
65	<p>園長先生をはじめ、教職員の安定した指導や保育は、区立幼稚園ならではのではないか。安心して子どもたちを任せらせる。</p>			
66	<p>現在では、子どもを区立幼稚園に通わせるほうが、保育園に入れるよりよほど多くの経費と親の協力が必要である。しかしその中で、子の成長を見つめることができ、問題点を発見し、きめ細やかな育児ができるのが区立幼稚園の良さであると思う。</p>			
67	<p>絵本で読み聞かせを通じて、子どもたちの思考をのばす。また、感性をみががすため外部からの講師を招いて創作など実施してはどうか。</p>			
68	<p>子どもに直接触れ合うのは先生方で、その先生方の質が高い。汐入こども園は、子育てしやすい区を目指す荒川区にとっても必要な園だと強く思う。他の自治体のモデルになるような素晴らしい園である。</p>			
69	<p>公立は子どもの個性を最大限に生かし援助して下さるので今後、子どもが自分で何かを考えたり自分の意見を持つことだったり、興味を自分でみつけることができたり、すごく子どもにとっては大切な環境だと思う。園庭があり自然にたくさん触れられる環境、教育の良さを全面に伝えていくことで前向きに広がっていくのではないかな。</p>			

70	<p>子ども主体の発育の見守り。教育という名の押しつけではない、一人一人に向き合って1日を過ごしてくださる毎日。</p> <p>教員数の充実。先生方の研究、研修。</p> <p>多様な子どもの受け入れ。</p> <p>これら区立幼稚園ならではの保育は、独自に教育課程を組み立て、採算も考慮の優先事項である私立幼稚園とは大きく異なっていると感じる。</p>	(前ページの続き)	
71	<p>公立園が誇れるものとして、先生方の質がある。何十年と積み上げて引き継がれてきた保育の質があり、キャリアと子育て経験も保育の質を向上させていると思う。先生の質は、保育、幼児教育の質であると思う。</p> <p>荒川区の幼稚園をいくつか見学したが、公立幼稚園の先生の質はどこより高いと感じた。そして、広さに恵まれ、木の温もりを感じられる園舎も、どこより心地良いものだった。</p> <p>今の子育ては非常に難しい時代だからこそ、何十年と積み上げてきた保育と経験、これからも研鑽を続けていかれる先生方と園舎が必要なのだと思う。</p>		
72	<p>区立幼稚園の先生は年齢層の幅が広い為、子どもを任せられる安心感がある。初めての育児の保護者。そうでもない保護者にとっても、とても頼もしい。</p>		
73	<p>質の高い幼稚教育の実現を掲げられているが、汐入こども園は小学校との交流も頻繁にあり、中学校までもが近くにあると言った立地であり、どの園よりも小学校、中学校教育へスムーズに移行できると考えられる。</p> <p>また、魅力的な幼保一体型の保育園がなくなることは子どもの教育面から見てもとても残念である。</p>	<p>汐入こども園は短・中時間部分のみ廃止としており、長時間部分につきましては、継続してご利用いただくことが可能でございます。</p>	

特別な支援を必要とする園児の受け入れについての意見

74	<p>私立幼稚園に通わせたいと思っていたが、東日暮里幼稚園は障がいの有無を問わず受け入れてくれた。昨今は私立幼稚園へ通うことへの補助金があるので、私立幼稚園を選ぶ方が増えていると聞くと、私立幼稚園へ通えない子どもはどうしたらいいのか。</p>		
75	<p>障がいを持っている子を嫌がらずに受け入れてくれるのは区立幼稚園しかない。</p>		
76	<p>障がいやハンデを持ったお子さんがいるご家庭にとって区立園は受け皿になるのかもしれない。</p>		
77	<p>現状、障がい児通所支援事業所では区立幼稚園を紹介していると思うが、こちらの紹介先がなくなるのか。 また、家庭の都合で私立幼稚園に入れられない障がい児たちの受け入れ先は確保しているのか。</p>	<p>区では、区立幼稚園での教育を希望する特別な支援を必要とする子どもたちが、教育を受ける機会を確保するため、必要な補助員を加配し受け入れを実施してきました。 園の再配置に際し、保護者の不安に寄り添い子どもたちがのびのびと成長することのできる環境を考えていくことは区の責務であると考えます。</p>	
78	<p>特別な支援を必要とする子どもの受け皿としても区立幼稚園の存在意義はあると思う。私立幼稚園では受け入れることが難しいお子さんが何人も区立幼稚園に入園されているのを見ている。どの子どもも分け隔てなく幼児教育を受けられる世の中になるといいなと思う。</p>	<p>このことから、特別な支援を必要とする園児を対象に送迎の支援を行うことを検討するとともに、子どもたちの就園先についても、きめ細かく相談に応じてまいります。</p>	
79	<p>私立幼稚園では受け入れてもらえない園児も多くいると聞くと、その子たちの行き場はどう考えているのか。</p>		
80	<p>区立幼稚園でなければ受け入れ先がない、発達が心配な子達、両親ともに日本語が話せない家族は今後どうするのか。</p>		
81	<p>区立幼稚園にはクラスに数人は支援の必要な子、日本語が話せない子がいた。そのような子どもたちを受け入れるためにも必要である。どこにも受け入れてもらえず、孤立してしまわないように。</p>		

82	<p>区立幼稚園は絶対的に必要である。インクルーシブ教育、障がいのある子、外国籍で日本語を話せない子どもの教育を確実に行うと明言できるのは区立幼稚園しかない。</p> <p>発達障害は、幼稚園入園後にわかる場合も多い。どんな子でも受け入れる教育は大切である。補助で人員を増やせる区立幼稚園がどんなに親を安心させるかと考える。外国の子どもは、一切日本語が話せず入園しても、2年目には他の子と同等の日本語が話せるようになっていく。小学校に進むのに重要な基準が満たされる。</p>	(前ページの続き)	
83	<p>特別な支援が必要な園児は、私立幼稚園に入園するのは難しい状況である。親子ともに不安にならない制度を作ってほしい。</p>		
84	<p>支援が必要な子どもについて長年受け入れてきた区立幼稚園の功績は大きい。</p>		
85	<p>私立から区立に転園または私立に入園できなかった場合、そういう子の行き場は今後どうなるのか。</p>		
86	<p>特別な支援が必要な子どもは、私立幼稚園では加配が付けられないことや区の療育センターと連携が難しいことなどで断られることがあるようだ。こういった子どもたちのためにも、区立幼稚園は必要だと思う。</p>		
87	<p>特別な支援が必要な子どもを受け入れ支援するのは区立幼稚園の大きな役割である。</p>		
88	<p>特別な支援を必要とする園児に対して、とても真摯に対応してくれる。区立幼稚園の先生は長期の休みや平日でも様子を見にきてくれたり、逆にたんぼぼセンターの職員さんを幼稚園に招いて連携をしっかりとっている。</p>		
89	<p>支援が必要な子どもたちが年々増えている。区立幼稚園だからこそ、そういう子どもたちに丁寧に向き合って一人一人のスピードに合わせた保育ができるのではないかな。</p>		
90	<p>町屋幼稚園は少人数のクラスだが、発達障害の方、重度の食物アレルギーの方、私立幼稚園で受け入れられなかったお子さんもいる。そういうお子さんの受け皿はどうするのか。</p>		

91	<p>補助が必要な子、外国籍の子、ひとり親のご家庭など、私立では通園が難しい方への対応はどうするのか。</p>	<p>(前ページの続き)</p>		
92	<p>幼稚園の存続について、年々人数が少なくなってきて大変かと思うが、存続して欲しい。保育園は人数制限があり就職してからでないといけないので子育てに厳しい社会に区立の幼稚園は必要である。</p> <p>もし今後区立の幼稚園が無くなり発達障害で私立へ通えない子がどこにもいけなくなってしまふ事を考えたらどんなに人数が少なくなっても希望として残して欲しい。</p>			
93	<p>区立幼稚園の減少で支援の必要な園児が集団教育を受けられる機会が奪われることが懸念される。</p>			
94	<p>発達が遅い子は、区立幼稚園で補助の先生が付いてくれることで安心して楽しく幼稚園生活を送れる。</p> <p>発達障害の子が増えている現代で、区立幼稚園を減らすのはそういう子を見捨てるのと同じである。</p>			
95	<p>素案のように進めていってしまうと、区立幼稚園は特別な支援を必要とする子どもしか集まらなくなってしまうのではないかと。支援を必要とするお子さんとそうでないお子さんの割合も検討して欲しい。小、中学校で支援学級が増えているが、幼稚園時代から同じカリキュラムでは活動できないことも多いと思う。お互い、助け合ってと考えるならば、小学校のように支援学級をつくり、一緒に活動できる子とそうでない子とで分けて双方が伸び伸び成長できる場を提供してもらえるといい。支援にあたる職員が資格のないパートさんが多いこともおかしいと思う。</p>			
96	<p>特別な支援が必要な子がおり、区立幼稚園で補助員の先生方に支援してもらって、何とか幼稚園へ通うことができた。</p>			

97	<p>現在、支援の必要な児童や外国人児童の受け入れ先が主に区立幼稚園となっていると思うが、区立幼稚園の閉園、汐入こども園の幼稚園枠が廃止された場合、そういった児童の受け入れ箇所が減ってしまうことについて、対応策を実施すべき。</p>	<p>(前ページの続き)</p>		
98	<p>私立幼稚園では、特別な支援が必要な子たちの受け入れがほぼ難しく、1クラスに付いてくださる先生方も公立ほど多くない。</p> <p>そのような理由で、荒川区の公立幼稚園の数が減ることや将来的になくなったりするようなことがあった場合、障がいのある子どもたちは幼稚園自体に通うことが不可能になる。障がいのある子たちが健常者と同じ教育を受けられる境遇を減らさないでほしい。</p>			
99	<p>特別な支援を必要とするお子さんが年々増加しているのに、加配が付けられる区立幼稚園を半分も閉園されるのは不安である。私立幼稚園では人員の確保が難しい園もある。幼児期はとても大切な時期である。子ども達が適切な保育を受けるためにも閉園の数などもう一度見直して欲しい。</p>			
100	<p>99人の特別支援を必要な子どもたちに焦点を当てた幼稚園の方向性が必要なのではないか。</p> <p>医療的ケア児も今後増えていく。</p>			
101	<p>特別支援を要する子ども達が増加傾向にある中、受け皿の役割を担っている区立幼稚園を閉園する事は矛盾している。</p>			
102	<p>私立幼稚園での発達障害児の受け入れの状況等、きちんと把握されてないため、今回のこの素案でますます受け入れが厳しくなるんじゃないかと、心配である。今の保育の現状をしっかりと把握した上で説明をしてほしい。</p>			
103	<p>区立幼稚園に求められる機能として、『特別な支援を必要とする園児の就学前教育を行う場として受け入れ先を確保しておく必要がある。』という旨があり、考えていただけていることに感謝する。</p>			

104	<p>特別な支援を必要とする子どもの受け皿ともなっている区立幼稚園が5園も閉園になるのは困る。区立だから安心して子どもを預けられるという側面もある。事前に納得のいく説明が必要である。</p>	<p>(前ページの続き)</p>	
105	<p>区立幼稚園は、どのような子でも受け入れてくれる、豊かな園生活を送ることができる貴重な環境である。</p> <p>4園残った中でどこかへ通うとして、遠ければ毎日往復4キロを2度、支援の必要な子を自転車に載せて送迎することになり、とても現実的ではない。そもそも、平均100人ほどいる要支援児。全員が通わなくとも4園に分けたとして1園15から20人、保育補助がどれほどつくのか。これも現実的ではない。</p> <p>可能であるならば、療育園をつくり、そこにバス通園ができるようにして欲しいと思うほどである。</p> <p>たんぽぽセンターだけではケアしきれない子どもたちを保育の中でケアし、小学校で少しでも落ち着いた学校生活を送って欲しいと思う。</p>		
106	<p>共働き夫婦が大多数となっている以上、より保育園的なものが求められている事は十分に理解できる。ただ、その為にすべきは保育園の拡充であり、区立幼稚園をそれに先行して閉鎖することではないはずである。今回提案された区立幼稚園の統廃合は、「特別支援幼児」とその保護者にとっては「幼児教育の質」を低下させる不利益変更にはならず、具体的な施策なしに、これを進めることは言語道断である。彼ら彼女らの教育機会はいかにして保障されうるのか。</p>		
107	<p>町屋幼稚園の廃園は幼児人数が少なくなっているとしても、どうにか残して欲しい。特に発達支援が支える必要がある子どもは少人数の環境が良いと思う。</p>		

108	<p>自閉症のわが子の幼稚園選びのポイントは、 少人数で大人の目が行き届く 小さな集団の中で社会性を広げて行くことが 出来る その集団の中で生活に必要なことを身につけ、 自身も発揮する 以上の様なことを考えた。</p>	<p>(前ページの続き)</p>	
109	<p>存続予定の4園に特別な支援を必要とする幼 児が集まったら補助員を増やすのは当然だが、現 在約100名の支援を必要とする幼児が約25 名ずつ4園にそれぞれ集まることは現実的では ない。</p>		
<p>幼小連携教育の今後の取組みについての意見</p>			
110	<p>小学校との連携は進学する面でとても安心で ある。</p>	<p>園の再配置後は、連携する小学校の広い校 庭を有効活用し、運動機能向上に資する取り 組みなどを推進できるよう連携を図るとと もに、交流教育や研究会等を引き続き実践し てまいります。 また、取り組み内容等を園長会や研究発表 会等で公表するなど、私立幼稚園とこれまで より連携しやすい環境を整えてまいります。</p>	
111	<p>小学1年生での問題を防ぐため、幼小併設施 設である園を残すべき。私立幼稚園や区立幼稚 園でも小学校との連携を図る予定と言うが、現 実問題、幼稚園と小学校間では物理的・心理的 距離があり、これから構築するのは大変なた め、併設されている園で連携するのがスムーズ ではないか。</p>		
112	<p>学校と幼稚園がくっついているところは幼稚 園に通っている子どもと交流をし学校ではどん なことをしているか分かり合えるものがあると 思う。</p>		
113	<p>小学校との連携による幼児・児童の資質と能力 をつなぐ国の施策を進めていくため、荒川区立幼 稚園が区の幼児教育の基幹として小学校及び私 立幼稚園との合同研修会を開催してはどうか。</p>		
114	<p>「特別支援や幼小連携のモデルとなる」ため私 立園との連携や幼保小接続の具体策を提示して ほしい。</p>		

115	町屋幼稚園の幼小連携の独創性を育む教育を、これから生まれてくる子どもたちが経験できないのは残念である。これまでの取り組み成果を水の泡にしてはいけない。		
116	町屋幼稚園がなくなった場合、5年間かけて行っている研究の成果をどのように発信したり継承したりしていくのか、具体的な取組を教えてください。 また令和5年度の募集要項から閉園を明記して新入園児がさらに減った時、最終年度の研究に影響が出かねない。その場合について区としてはどのような対応を考えているのか。		
117	国が示している幼児教育と小学校教育へのかけはしの重要性をもとに、町屋幼稚園と七峡小で取り組みはじめている幼小連携の成果や問題点を半ばで打ちきるのは荒川区の幼稚園教育全体にも損失である。		
118	町屋幼稚園の幼少連携教育は、小学校に併設する恵まれた環境を生かし、区内の就学前教育施設・小学校に実践の成果を広げていくためのモデル園としての役割を果たしていかななくてはならないと考える。 また、対象児である現在の小学校一年生が六年生になるまで、継続して児童の学びを小学校教諭・幼稚園教諭で見守ることが大切なのではないか。 そして質の高い幼児教育実現のため、実践を広げていく方法を考え合っていきたい。	区立幼稚園でこれまで積み重ねてきた全ての教育活動は、閉園とともに無くなるのではなく、他の区立幼稚園に引き継ぎ、発展させ、区立幼稚園が目指すべき方向性を実現してまいります。特に、町屋幼稚園と第七峡田小学校での幼小連携の取り組みにつきましては、他の未就学施設に対しても広く還元していくことで、荒川区全体の就学前教育の質の向上に努めてまいります。	
119	町屋幼稚園と第七峡田小学校との研究も3年目で、頻繁に交流している。こういう研究は長く続けないと意味がない。 少なくとも今の年長児が小6になり、自分がしてもらったことの意味を実感して、次の年長児と接することが大事なのではないか。		
120	この度の閉園計画の前に幼小一体化モデル園の検証はされたのか。されていたならば、今回の閉園への立案は検証結果とどう向き合い、このような結論に至ったのか。		

121	<p>町屋幼稚園の良さ</p> <p>環境</p> <p>第七峡田小学校が隣接していて、校庭や体育館を開放してもらえる。</p> <p>ビオトープ、屋上庭園もあり自然に触れ合う機会が多い。</p> <p>民家に囲まれていないので災害時の避難もしやすい。</p> <p>教育</p> <p>幼小連携の研究モデル園として研究に取り組んでいて七峡小には幼小共通の学びの部屋もあり、交流が盛んである。</p> <p>先生方もお互いの教育の様子を参観しあっているので、子どもたちの成長過程をよく理解している。</p> <p>園長先生も校長先生が兼任なので七峡小へ入学させる場合、保護者は安心感がある。</p>	(前ページの続き)	
学級編制基準についての意見			
122	<p>閉園までの残り数年、7人以下での新規クラスの編制を行わないという条件を撤廃し、少人数でも入園希望者を受け入れて最後まで園生活を送れる事を保証してほしい。(5件)</p>	<p>区立幼稚園は就学前の子どもたちの教育の基礎を培う場として、保育し、健やかな成長のために適当な環境を与えて、子どもたちの身心の発達を助長することを目的に設置されるものです。このため学級編制基準は、小学校へ入学するまでに集団の中で学ぶことのできる社会性を身に着けるために必要な基準であり、この基準を保持することは、幼児教育の質を保持することの要素の一つであると考えます。</p>	
123	<p>閉園まで人数制限なく園児を受け入れて入園を希望する全ての子ども達に園生活を送らせてあげたいので7人以下で募集中止という条件を撤廃してほしい。</p>		
124	<p>閉園まで7人以下での新規クラス編制を行わないという条件はせめて撤廃するよう、切に願っている。</p>		
125	<p>閉園という選択肢が変わらないのであれば、せめて「学級編制を行う基準」をなくし、子どもたちが行きたい幼稚園にいかせてあげられる環境にしてほしい。</p>		
126	<p>学級編制を行う基準を撤廃してください。再配置での閉園、廃園、存続園すべてで選んで入園を希望している幼稚園へ入園できるようにしてほしい。</p>		
127	<p>8人に満たなければ即廃園ではなく、せめて、令和8年度いっぱい希望児を受け入れる環境にしてほしい。</p>		

128	<p>閉園になる園がある以上、残り数年しかない中、7名以下の募集しなければ新規の編制は行わないというのは、絶対にやめてほしい。(もちろん残念の場合も)</p> <p>区立の少人数の保育だから選んだ保護者も多い。</p>	(前ページの続き)	
129	<p>特別な支援を必要とする園児の私立幼稚園の受け入れ体制の整備や、区立幼稚園の駐輪場の整備には時間を要する。閉園が決まっている園に希望する園児は少ないことが予想されるため、閉園が前倒しになった場合、公立幼稚園を必要とする家庭はサポートが整わない状態で放り出されてしまうことになる。閉園予定の園は7名以下でも閉園まで存続を願う。</p>		
130	<p>学級編制基準を残し募集中止・廃園を検討することを望んでいるかのような対応に、到底納得することができない。</p>		
131	<p>学級編制基準に則っての廃園等の措置はまだ理解できるが、突然の4園廃園には驚いている。学級編成基準は何のための基準なのか。</p>		
132	<p>区立幼稚園が希望者が減少傾向だったのは、いつなくなるかわからない、という不安もあったのではないか</p>		
133	<p>少子化や核家族の家庭が増えているのに、7人では人間形成は学べないのか？</p>		
134	<p>これからは多様性を受け入れる時代であるため、公立幼稚園の果たすべき責任を考え、計画、実行していくために入園基準を廃止してほしい。</p>		
135	<p>特別な支援が必要な園児が増加しており、健常児や特別な支援が必要な園児を十分に教育できない可能性が出てくる。したがって、ある程度小規模の人数編制が好ましい。</p>		
136	<p>弟妹への配慮として即時募集停止ではなく令和6年までの経過措置がとられるようだが、兄姉が通園しているわけでもない閉園を予定している園をわざわざ好んで選ぶ人が、学級編制基準の8人を満たすほどいると思っているのか。</p>		
137	<p>令和6年度までの新入園児の応募が7名以下であっても、入園希望者がいれば入園を保障してほしい。そうでなければ、兄弟がいる家庭は転園せざるを得ない。</p>		

預かり教育の拡大・給食提供等についての意見		
138	保護者のライフスタイルの変化や都合で考えるべきではない。幼児期に必要な経験をすることが今後の人生の基盤となっていく。	<p>新たな行政サービスの実施にあたっては、様々な家庭の事情にできる限り対応できるよう、多様な選択ができることも配慮しながら検討を進めてまいります。</p>
139	保護者のニーズを優先することで、幼い子ども達が寂しさや窮屈さを感じないようにしてほしい。	
140	保護者が作ったお弁当を食べ、降園後には友達や保護者と遊ぶといった親子のコミュニケーションは親子の宝物である。母親がこどもの就学後に社会復帰できるよう整備することのほうが大事である。	
141	家庭の事情により、利用したい方ができる、自分で弁当を作りたいと選択できるようにしてほしい。	<p>既にモデル実施している預かり教育につきましては、利用定員はありますが、希望制で、保護者の就労等を事由にしない日額利用もごございますので、保育の必要な日にご利用いただけます。</p> <p>また、給食の実施につきましては、アレルギー対応は当然のことながら、可能な限り区民の皆様のニーズを考慮し、早期の実現を目指してまいります。</p>
142	私立幼稚園でも実施しているが、園を選ぶ保護者のために選択肢はたくさんあってよいのではないか。	
143	お弁当の日を月一回作ると、子どもにとって良いのではないか。	
144	区立幼稚園で預かりがあると、仕事の復帰を考えている家庭では、大変ありがたいと思う。園児のお弁当は量が少ないので作る手間はそれほどかからないが、給食の提供があるとよりバランスのとれた食事を摂ることができて、とてもいいと思う。	
145	延長保育や給食の提供などが実現すれば、共働きの方の負担も減り入園者数が増えるようにも思う。	<p>区立幼稚園の園児の減少は預かり教育の実施の有無に関わらず様々な要因が考えられますが、一因であったと受け止めておりません。そのため、以前より要望があった預かり教育の全園実施をはじめ、給食の提供等を着実に前進させ、保護者の皆様のニーズに応えてまいります。</p>
146	どうしても給食と預かり保育のない園に入園するだけの元気はない。どうしても負担を考えると私立幼稚園しか選択できない状況になっている。今回の素案は未就園児の母親から見て非常にありがたく素晴らしいと思う。出来るだけ早く再配置園の給食と預かり保育が始まることを願う。	
147	給食の提供や延長保育などは必須なのではないかと思う。	

148	<p>もう十分な幼児教育をされているので、預かり保育、給食提供があれば、もっともっと魅力的になると思う。</p>	<p>(前ページの続き)</p>																			
149	<p>時代に合わせたニーズに応えていくためには、既存の枠組みに捉われず、革新的な改革に期待したい。</p> <p>日暮里幼稚園でモデル実施されている預かり教育のモデル期間が長い。こういった施策はスピード感をもって取り組むことが大切である。</p>																				
150	<p>保育時間の延長や給食提供については、とてもいい案である。</p> <p>出産後、育休がしっかり取れ、その後復職できるような環境にある方や、子どもを預けられる親族が近くに住んでいる方以外は、仕事を続けたくてもやむなく離職され、家庭に入り子育てすることになる。延長保育や給食提供があれば、そういった方達の受け皿になり、子どもを預かってもらっている時間を使って、就職先を探すこともできる。</p>																				
151	<p>区立幼稚園の保護者も働いている方もいるので預かりや食事の提供を考えてみるのは良いことだと思う。</p>																				
152	<p>預かり教育と給食の提供について、これは区立幼稚園保護者から以前から要望があったはず。令和9年といわず、できるだけ早めに着手して欲しい。また、給食提供をしたところで私立幼稚園の影響は無いのではないかな。</p>																				
153	<p>多くの保護者が望んでいた、区立幼稚園での預かり保育や給食について、残る園で実施するとの事で、とてもありがたく思っている。</p>																				
154	<p>給食があり、預かり教育があることでより区立幼稚園の魅力は増すと考える。</p>																				
155	<p>給食や延長保育が実現すれば、現在1歳の子どもも保育園ではなく町屋幼稚園に入園させたい。</p>																				
156	<p>給食の提供と、仕事をしていなくても可能な延長保育の実施を願う。</p>																				
157	<p>学級編制基準を残すのであれば、閉園することが決まっている園に入園希望者が集まらない可能性があり、閉園が早まる可能性があるため、早期のテコ入れが必要である。保護者や園児の不安を少しでも払拭してほしい。</p>																				

158	<p>共働き家庭が多い中、預かり保育なしは入園にハードルとなっているはずである。預かり保育や給食は悩んでいる場合ではなく、荒川区が全力で対処すべき事案だと思う。</p>	<p>(前ページの続き)</p>	
159	<p>預かり教育は保護者の就労によらず、保護者の希望があれば実施してほしい。私立幼稚園では希望した日時に親の仕事以外の都合でも預けられる。</p> <p>給食(宅配弁当)制度を速やかに導入して、希望者には給食を支給してほしい。保育園同様に給食室を設置するのが一番望ましいが。</p>		
160	<p>預かり教育、給食提供を新しくスタートすることは必要である。</p> <p>この2点がないことで、園を選ぶ際に候補から除外対象にするご家庭も多いと思う。</p>		
161	<p>共働きの家庭は昔よりも増えている中で、昔のままの規定で園を運営するのは難しいと思う。</p> <p>「預かり時間の延長」「給食提供」を導入することで、入園選択対象とする保護者が増えるのではないかと。</p>		
162	<p>延長保育も検討した方が良くと思う。給食も、夏場を考えるとあった方が良く。</p>		
163	<p>預かり教育や給食提供が行える環境が揃えば入園児数も増えると考えます。</p>		
164	<p>利便性が求められる世の中で給食、延長保育など、私立幼稚園で行われていることを取り入れていくことは必要なのかもしれない。</p>		
165	<p>幼稚園での給食の実施、預かり保育18時まで、などを実施すれば、かなり人気になるのでは。</p>		
166	<p>区立幼稚園は入園者数が減少しているが、保育時間を延長し、給食等の提供を行えば、入園希望者は必ず増えるはずである。</p>		
167	<p>私立幼稚園と比べると、区立幼稚園はお弁当や保護者による送迎、預かり保育がないことなど、保護者の負担が大きいと捉えられることもある。</p> <p>保育園入園希望者や私立幼稚園希望者が増加している状況では、区立幼稚園も預かり保育や給食の導入等をし、区立幼稚園に入園できる方を増やす必要があると思う。</p>		

168	<p>公立幼稚園の開園時間は短く、働く女性が増えた今の時代に合っていない。そこは早い段階で合わせて行くべき、変わっていくべきだと思う。今のままでは、様々な質を求める前に、条件面において入園候補にならない。変わらねば、年々入園希望者が減っていくのを見守るだけである。</p>	<p>(前ページの続き)</p>		
169	<p>幼稚園入園を機に仕事をしたい場合、既に保育園は定員オーバーだったり、入園条件が厳しくて入れない。私立も補助が出るとはいえお金がかかったりする。(サービスを充実させて)区立も選択肢の1つに入ってもいいと思う。</p>			
170	<p>存続する園で給食などを検討とあるが、閉園する5園には絶対に実行してほしい。</p>			
171	<p>預かり時間の延長は希望者だけでもいいので確実に実施してほしい。給食も検討ではなく実施を要望する。せめてお弁当か給食を選択できるようにしてほしい。預かり教育が令和9年度からになっているが、遅すぎる。中途半端な時期に入園する子のことを考えて、預かり教育の実施や給食の実施ももっと早くからはじめるべきだと強く思う。</p>			
172	<p>区立幼稚園の児童が減少しているのは、私立幼稚園と比較して「延長保育」「給食」が実施されていないためだと思う。延長保育と給食の検討とあるが、前倒しで町屋幼稚園で実施することで、町屋幼稚園の素晴らしい環境でより多くの園児が就学前の教育を受けることが可能となる。</p>			
173	<p>延長保育や給食の提供はこれまで要望が多かったにも関わらず、区が取り組んでこなかった問題であるが、閉園までにスムーズに実施されるとは到底思えない。</p>			
174	<p>入園を受け入れなくなった時期からは預かり教育や給食を実施できるようにしないと、不公平感が出てしまうと思う。令和8年度までできないのであれば、逆に廃園時期を令和10年などにすべきではないか。</p>			
175	<p>預かり教育については、その存在意義、目的、方向性等を明確にし、関係者の意見を反映してほしい。</p>			
176	<p>預かり教育を早期に実施していたら園児の減少に歯止めがかかっていたと考えるか。</p>			

177	区立幼稚園の預かり教育の拡充については、共働き世帯も区立幼稚園が選択肢となり大変良い。	就労など保護者の環境によらず区立幼稚園に入園を希望する方が、区立幼稚園を選択しやすい環境を整備するとともに、安全安心の下に利用しやすいサービスの提供に努めてまいります。
178	今は働いているママが多いので、保育時間はもう少し長い方が良いのかもしれない。	
179	預かり保育も導入してもらえるのはありがたい。	
180	幼稚園も、預かり保育を是非全園で実施してほしい。父母とも働く人が増えており、23区内では10年前から実施している幼稚園がある。より子育て家庭を厚く支援し、安心して働ける環境を創ってほしい。	
181	共働き家庭の選択肢を広げ、多くの子どもたちがより良い保育・教育を受けられるようになっていくために、区立幼稚園の預かり教育を全園で行うことが必要である。	
182	預かり保育がないのなら、希望の家庭には保育時間を延長するなど、他にもやる事が多いと思う。	
183	区立幼稚園への入園者の減少は、主に預かり時間、給食、送迎等における私立幼稚園や保育園とのサービスの違いによるのではないかと。子ども達に良好な環境を提供し、親の要望をもふまえた幼稚園を多数持つことは、荒川区の魅力向上にもつながると考える。	
184	食育を考えると、やはり給食でいろいろなものを食べる経験も必要かと思う。	
185	給食があったらママさん達も楽にできるのと子ども達も好き嫌いも無くなると親として考える。	
186	週4日の弁当作りがなくなり、給食を提供してもらえるようになるのはありがたい。	
187	園児数を増やすにあたっては質の高い幼児教育はもちろんの事、預かり教育の拡充や働く親でも安心して預け易い体制に早急に整えた方が良い。	預かり教育の実施につきましては、各園に配置している教員を再配置することで人員の確保を検討しているため、園の再配置とともに実施することとしております。 また、園舎の建替えにつきましては、荒川区の施設全体の長寿命化等を踏まえ、改修計画等に基づき実施すべきものと考えます。
188	令和6年度までに給食や延長保育などができるように考えるとともに、園舎を建替えると入園希望者が増えるのではないかと。	
189	預かり教育の実施や給食の提供は、閉園しなくとも実施可能ではないか。	

190	10年間で園児数が半減しているが、様々な工夫ができたのではないかと。区では危機感を持って対応してきたのか。	区ではこれまで、園児数の減少や保護者からの要望を受け、預かり教育を平成31年度から日暮里幼稚園においてモデル実施してまいりました。今後はこれまでの取り組み内容を検証するとともに、園児の安全性等を考慮し、更に充実したサービスの提供に努めてまいります。
191	私立幼稚園に与える影響等に配慮とあるが、それでは保護者のニーズに答えを出せないと思うし、私立幼稚園と切磋琢磨するくらいの姿勢でよいのではないかと。	
192	子どもの健康を考えると栄養バランスの取れた給食の方が魅力的である。また、預かり保育の有無や保育時間の短さは区立園のハンデだと思う。 幼保無償化の前は区立園は料金の低さが魅力だったが、習い事や降園後の過ごし方に寄っては私立園より子育てにかかるお金が高くなることもあるため、園内でできる習い事等があったら人気が増すのではないかと。	
193	区立幼稚園に通わせる保護者の負担が大きいが、給食の提供やコミュニケーションのデジタル化など軽減方法はいろいろある。	
194	週一度や月一度など学校給食を体験できたらいい。	
195	小学校と隣接している町屋幼稚園は給食に切り替える事も可能ではないかと。	これまで区立小・中学校でのふれあい給食において、区立幼稚園の園児も学校給食を体験してまいりました。現在は感染症の影響により実施が難しい状況ですが、食を通じて様々な取り組みができないか等の工夫をしながら、よりよい方法を検討してまいります。
196	小学校に給食室があるので、今後の給食提供もやりやすいのではないかと。	
197	給食提供等の検討とあるが、汐入こども園は学校の給食室もあるので、実施する上では効率的。	
198	給食提供について 区立幼稚園の昼食はお弁当持参となっており、負担は少なからず感じていた。南千住第三幼稚園の近隣には姉妹校の六瑞小学校があり、給食提供については検討できるのではないかとと思う。	

送迎の支援についての意見

199	<p>8園ある幼稚園が4園になってしまった場合、障がい児にとっては選択枠が半分になってしまう。健常のお子さんよりも圧倒的に何かと選択枠が少ない。</p> <p>自宅近くに私立幼稚園があったとしてもそれは選択可能な枠には入らないことが多いのではないかと。そうなると、少し離れた園を選ぶことになる。</p> <p>園の数が減ることで遠くから登園するお子さんが出てきた場合、『通園バス(スクールバス)』というのは検討していただけないのか。</p> <p>障がいがあると、なかなか長い道のりを歩いて登園するのは難しい。天気が良ければ自転車送迎も可能だが、雨の日のバタバタな朝は事故のリスクも高そうである。</p>		
200	<p>地区に区立幼稚園が一つになると、距離が遠くなる方が増え、特に天候が悪い時などは大変である。区立幼稚園を諦めて私立幼稚園を選ぶ方もいると思う。</p>	<p>再配置後は送迎の負担が増す家庭もありご不便をおかけしますが、通園距離を鑑みて、自転車での送迎ができるよう、駐輪場の確保等、必要な対応を検討してまいります。</p> <p>なお、特別な支援を必要とする園児を対象とし、再配置後においても安心して通園することができるよう、支援の状況や通園距離等を考慮しながら、送迎の支援を検討いたします。</p>	
201	<p>日暮里地区には東日暮里幼稚園と日暮里幼稚園の2園がある。東日暮里幼稚園が廃園となると、公立幼稚園を希望した場合、距離が遠い日暮里幼稚園に通うことになる。その場合、通園時間も長くなり、仕事などで忙しい保護者の方は、負担が大きくなると思う。他の廃園予定の幼稚園も同様に近所にあった幼稚園がなくなることは保護者の負担が大きくなると思う。</p>		
202	<p>町屋地区から花の木幼稚園までは少し距離があり、複数児を預けるご家庭等は、通園も大変だと思う。</p>		
203	<p>送迎バスもない区立幼稚園で、通園したい親子にとって、これほど減らしてしまうことは大変不便なことだと感じる。天候が悪い日も、幼児を連れての登園で、兄弟が一緒の場合もある。</p>		
204	<p>4園に減り遠くに毎日自転車や、徒歩で通うのは簡単なことではない。</p>		
205	<p>徒歩圏内に通える幼稚園がないと天候であったり、兄弟との兼ね合いであったりと不都合が生じる。</p>		

206	<p>預かり教育と給食提供、再配置によって区立幼稚園が減るのは理解できるが、配置の位置が隔たっているのではないか。</p> <p>特に町屋幼稚園は、花の木幼稚園を利用する為に町屋駅前を通過する家庭が予測されるが、園児を載せた自転車での移動距離に危険を感じる。それぞれの地区に住む家庭が利用しやすい位置に設立できないのなら、送迎等に何らかのサポートが必要ではないか。</p>	<p>(前ページの続き)</p>	
207	<p>なるべく徒歩での登園をと園から言われているが、遠い地区から公立幼稚園に通うのに3歳の子を歩いて行かせるのはとても大変な事だと思う。送迎バスは予定なしと聞いたが、それでは園児数も確保できず、残る園も廃園になってしまうのではないか。</p>		
208	<p>南千住第三幼稚園は位置的にも必要なのではないか。他の区立幼稚園に通うとなった場合、遠くて通園が難しい人も出てくると思う。</p>		
209	<p>現在の設置位置を見たときに、親子で歩いて通える園としてふさわしいと思う。再配置で廃園されてしまうと、区立園を希望しても通園が困難になる家庭も出てくると思う。</p>		
210	<p>なるべく幼稚園を減らさない方が良いと思う。8つから4つに減らすと送り迎えの距離がのび大変な人もでてきたりする。</p>		
211	<p>自宅から通いやすい場所に配置されている区立幼稚園。通園時の配慮(自宅から遠くなってしまった家庭)についてはどう検討しているのか。</p>		
212	<p>4園にする場合でも送迎バスは必ず実現すべき。</p>		
213	<p>幼稚園の登園は基本、徒歩登園とされているが、廃園予定の幼稚園周辺に住んでいる方で区立幼稚園への入園を希望している方にとって、幼児を連れて雨の中や炎天下の中を長距離歩いて登園するのはとても大変なものになると思う。何か対応は検討しているのか。</p>		
214	<p>地区ごとに区立幼稚園を1園としているが、距離が遠くなってしまって困る方はどうしても出てくる。そのような方達のために園バスは必須にするべき。</p>		

215	町屋幼稚園を無くし徒歩で通える近い区立幼稚園がなくなったら、バスや自転車でしか通えない少し遠い私立幼稚園に通わなければいけないのか。	(前ページの続き)			
216	素案では地区ごとに一園配置とのことだが、南千住には私立園もなく、区立も汐入だけになると、1丁目、5丁目周辺の方は区立という選択が難しくなる。晴れの日なら自転車通園もできるが、下のお子さんがいる方や雨の日は通園が難しく、バス通園の私立園しか選べなくなる。歩いて通える園という選択ができないのは、どうかと思う。				
217	なぜこの4地区に分けて、各1園の4園で賄えるのか、疑問が残る。特別な支援が必要な子の受け皿として担ってきた区立幼稚園が減少すれば、通園がますます重労働になる事は容易に想像できる。支援が必要ない子でも、計画性や効率とは別の世界に住んでいる子と通園することだけでも大変な毎日である。日々のぐずり、雨の日、強風の日、兄弟姉妹の有無、多胎児、、色々ある。それぞれの家庭に合わせた手厚い支援をお願いする。(送迎を区で行うなど。)				
218	園が減ってしまう分距離が遠くなる為、バス通園があればよいと思うが、素案の中でそのあたりに関する具体的な計画が何も示されていない。				
219	歩いて通園できる距離にあるのが区立幼稚園の良さだと思うが、年少児や支援が必要な園児が長時間歩いて登園することになると、登園後に楽しく活動ができると考えるのか。疲れて怪我につながるような心配はあるのではないか。				
220	家の近くの幼稚園に通うことで、その後の小学校への入学時に既に友人がいて安心して通うことができる、地域を知っていることで通学時の安全性が高まるなどは、小学校低学年の子どもにとって重要な要素である。			地域の幼稚園から小学校へスムーズに馴染める環境をとの保護者の皆様のご心配は当然のことと受け止めております。再配置後の区立幼稚園において、小学校や地域との交流を継続して実施してまいります。	

園運営の見直しについての意見		
221	閉園予定の幼稚園に入園させたかった保護者は、長時間移動が必要となり就労等に影響が出るが、受入時間を早める等の対応はするのか。	<p>区立幼稚園は教育課程に則り、現状の午前9時から午後2時まで、水曜日は正午までの時間で、必要な保育を実施しております。また、再配置後は、教育課程修了後に、現在日暮里幼稚園でモデル実施を行っている預かり教育を全園で実施することになります。</p> <p>園児の安全や職員の働き方も十分に考慮しながら、可能な限り区民の皆様のニーズに応えられるよう検討してまいります。</p>
222	幼小教育が必要と分かっているながら幅広い家庭環境の未就学児が幼稚園に通える環境を整えることは考えていないのか。	
223	時代にそぐわない水曜日の午前保育を廃止し、3歳児も5歳児も全て全日14時までの保育にしないのはなぜか。	
224	<p>保護者の就労を前提とし、水曜日の午前保育をなくし、週5日間の保育時間を9時から15時にしてほしい。また、年少児の慣らし保育期間は入園から2週間ほどでよいのではないか。</p> <p>区立幼稚園に預けている保護者も就労していることを前提とした教育時間の配分が必要である。</p>	
225	未就園児の会の運営が保護者任せになっていることについて改善を求めているが、改善されない。幼稚園教諭の意識改革が必要であり、改善して存続する方向へ導いてほしい。	<p>P T A活動につきましては、様々なご負担をおかけしている部分もあると認識しております。</p> <p>一方で、子どもたちのために何かできることはないかとのお声もいただいているところです。</p> <p>今後、保護者の皆様に過度な負担とならないよう工夫が必要であると考えます。</p>
226	<p>P T A活動が多い。幼稚園の保護者に運営をあまり頼らない体制にした方が良い。</p> <p>園児募集は荒川区民だけでなく制限を少し緩和するなどはどうか。</p>	
227	保護者の協力を前提とした園行事・園内活動等を改める必要がある。P T A活動を始め、その他の保護者ボランティアがなければ園行事・園内活動が成り立たないのが現状。本来は予算を組んで人員を配置する等の必要があるのではないか。	
228	P T A活動は保護者の就労の有無によって活動内容に差が出てしまうため、少なくしていったほうが良い。	
229	園児減の中で35名学級は実態にそぐわない。今こそ定数を見直し、大切な幼児教育をより質の高いものへと導いてほしい。	<p>区立幼稚園は就学前の子どもたちの教育の基礎を培う場であり、集団の中で生活することは重要な体験です。幼稚園設置基準には、一学級の幼児数は35人以下を原則とする旨が明記されており、区立幼稚園における35人学級は適正なものと考えます。</p>

施設の有効活用についての意見		
230	今ある設備、施設を無駄にしないでほしい。	<p>閉園後は子どもたちの教育のための施設として活用していくことや、区全体のニーズを鑑みて、必要な施設として活用していくことを第一に検討してまいります。</p>
231	<p>廃園後の施設は売却を含めて検討中とのことだが、売却後に大型集合住宅が建設された場合、そこに住む子どもたちの受け入れ先はどのようなのか、心配である。廃園後の施設は、子どもたちのため施設になることを切に望む。</p> <p>減園後の活用方法に売却が検討項目の中にあるのならば近隣住民にももっと周知が必要なのかと思う。</p>	
232	仮に幼稚園廃止であれば、保育園に切り替えるなどの代替案も勧めてほしい	
233	区立幼稚園を園の数が減ってしまうのは仕方ないが、その後の活用方法も決めて説明してほしい。	
234	預かり教育の部屋以外をにこにこすくーるや学童として使用するなど、空き教室は開放してはどうか。異学年交流が子どもの成長に大きく役立つのではないかな。	
235	短時間の預け先として一時預け先より安価で受け入れをする等、利用方法はあるのではないかな。	
236	汐入こども園の短・中時間廃止後は、汐入東小学校の特別支援学級の実施場所としてほしい。また、小学校児童数増加による特別支援学級増設の検討もしてほしい。	
教員の再配置についての意見		
237	半分も幼稚園を廃園したら働いていた先生たちの居場所はどのようなのか。他の園に移動するにしても多すぎないかな。	<p>これまで幼稚園教諭をはじめとした職員が、一人一人の子どもたちに丁寧に向き合い、自らも研鑽を積みながら、区立幼稚園の幼児教育を担ってまいりました。また、区職員の待遇の改善にも取り組んできたところがございます。ご指摘のとおり、職員は区の財産であり、働きやすい環境の整備は区の責任であると考えます。これからも職員が働きやすくやりがいのある職場づくりに努めてまいります。</p>
238	区立幼稚園の確かな知識と人柄の大切な先生方がどのようなのか危惧している。預かり教育だけの再配置で足りるのかな。大切な”人財”が区外に流れていきそうで悲しさを覚える。	
239	区立幼稚園が4園しかなかったら、幼稚園教諭は荒川区の幼稚園で働くことを選択しづらくなるかな。いい人財を逃してしまうことになるのではないかな。	

240	<p>現在働いている幼稚園教諭の雇用はどうか。全員を他の幼稚園に配置するとのことだが、無理ではないのか。素晴らしい職員であるからこのまま子どもたちと一緒にすごしてほしい。</p>	<p>(前ページの続き)</p>	
241	<p>幼稚園教諭の処遇は全員荒川区内で働いてもらおうと説明があったが、全員を受け入れられるのか。このようなすばらしい知識と経験を持つ先生方が希望しない形で働かされることになり区外に出るようなことがあれば、区にとって大きな損失である。</p>		
242	<p>幼稚園教諭の増員と待遇の改善についてもぜひ検討してほしい。</p>	<p>幼稚園教諭の配置基準に沿って適正な人数を配置しているとともに、働き方改革の観点より、休園日を設けるなど適正に対応しております。</p>	
243	<p>補助員の転職先は確保しているのか。また、補助員に交通費が支給されていないが、勤務先が遠くなった場合、交通費は支給されるのか。</p>	<p>補助員は引き続き特別な支援が必要な園児のサポートを担っていただけるよう働きかけてまいります。なお、交通費については、公共交通機関を利用している職員や一定の通勤距離に応じて令和4年度より支給をしております。</p>	

(3) 地域バランスに配慮した再配置に関する意見		
再配置園の選定の考え方についての意見		
244	<p>集団保育の集団とはおおよそ20人から30人程度と考えると、統廃合はやむをえないことと思う。</p>	<p>今後も幼稚園教育全体の質の向上等、区立幼稚園の方向性に沿って着実に充実策を実行し、区民の皆様が安心して子育てをすることができる環境を整えてまいります。</p>
245	<p>昨今の区立幼稚園の状況を考えると、大変残念ではあるが、園数の削減は致し方ないのかな、と思う。</p>	
246	<p>募集人数に満たない円は統廃合していくべき。確か現在の東日暮里幼稚園は年長は男子児童だけだったり、年中も年少も10名以下。子どもにとってそれが良いのか。ある程度の人数でいろんなお友達に出会う方が楽しいはずである。人数の集まらない園は閉園していくことはしょうがない。</p>	
247	<p>今後、残る幼稚園でも、子どものためになる幼稚園になるように努力をお願いする。</p>	
248	<p>このとても素敵な幼稚園を閉園すると決めたのなら、より良い幼稚園を考えていただくよう、お願いします。</p>	
249	<p>区立幼稚園の再配置に伴い、現園児や保護者、他の園への影響があるのか。在園児や保護者にとって閉園は不安であるため、誰もが納得できる方向に向かってほしい。</p>	
250	<p>なぜこの4地区に分けて、各1園の4園で賄えるのか、疑問が残る。</p>	<p>区立幼稚園の再配置につきましては、荒川区内の幼稚園配置における地域バランスの配慮 園児数の推移および幼児人口の状況 各地区の状況や各園の施設環境など 以上の観点から、総合的に判断しております。 これまで積み重ねてきた全ての教育活動は、閉園とともに無くなるのではなく、他の区立幼稚園に引き継ぎ、発展させ、充実策を着実に実行することも含め、区立幼稚園が目指すべき方向性を実現してまいります。</p>
251	<p>区立も私立も良いと言われてる場所はちゃんと残すべき。建ってる位置などで決めないでほしい。</p>	
252	<p>私が特に納得できないのは区議会で区立と私立とのバランスを考えて閉園する園を考えたという部分。私立と区立をバランスよく...何がバランスよくなのか。</p>	
253	<p>地図上だけで判断できないものがあるのではないかと。それなら近隣に幼稚園が密接していると思われる地域に友の木ひまわり幼稚園を誘致しなくて良かったのではないかと。あちこち新たにマンションも建築されているのに、本当に四園も廃止して大丈夫なのか。</p>	
254	<p>閉園する幼稚園の選定基準に疑問。</p>	
255	<p>バスのない区立幼稚園を広い地域で区切って園を割り振る今回の選定基準には無理があると感じる。</p>	

256	<p>小学校との一層の連携強化が求められるのであれば、小学校に隣接する園を減らすことについてはとても疑問が残る。</p> <p>また、地域バランスに配慮するのであれば、東日暮里地区に区立幼稚園が一つしかないことにも疑問がある。</p> <p>区立幼稚園を減らすことが本当に必要なのか再考していただきたい。</p>	<p>(前ページの続き)</p>
257	<p>地域バランスに配慮とあるが、区立園を各地域1園とするのは配慮が足りない。特に瑞光地区は私立園がないため、複数園残すべきである。今回の行き過ぎた廃止案の見直しをお願いする。</p>	
258	<p>地区で1園というのではなく、地図を見たバランスで必要な園かをまずは判断する方が良いのではないか。</p> <p>また、一度に5園ではなく、様子を見て、少しずつ減らすという方向では進められないのか。</p>	
259	<p>区として、区立幼稚園の入園者数を増やすためにやれることをやったのか。質の高い幼児教育とあるが、少人数だと質が落ちるのか。子どもたちが行きたい、保護者が行かせたい、と思う幼稚園に地域バランスは必要なのか。</p>	
260	<p>区の北東方向に位置する区立幼稚園が存在しなくなることは、当該地区に居住する住民、特に子育て世代にとって、近隣に幼稚園が存在しないという、幼児教育上の深刻な問題となり、「子どもたちが質の高い幼児教育を受ける」という区の目標に与える影響は少なくない。峡田地区に町屋幼稚園を継続して配置するとともに、花の木幼稚園については、区のほぼ中央に位置し、尾久地区および日暮里地区に隣接するという地理的な位置条件から峡田地区には含めないこととし、瑞光、峡田、尾久、日暮里の各地区の区立幼稚園（南千住第二、町屋、尾久第二、日暮里）と相互補完する幼稚園として位置づけることが現実的な選択肢である。</p> <p>以上の観点から、素案の再考を強く願う。</p>	
261	<p>町屋地域は他の地域に比べて範囲が広いことと、小学校への進学地域を考えると、花の木幼稚園側、町屋幼稚園側の2園あるべきだと考える。</p>	

262	<p>区立幼稚園の位置関係を見た時に周りに私立幼稚園があるとの理由で、町屋幼稚園は閉園の対象となるということだが、区の真ん中に位置する花の木幼稚園も同じような条件で私立幼稚園が存在していることから、必ずしも真ん中の位置に区立幼稚園を残さなければいけないとは感じられない。町屋幼稚園はとても充実した保育環境と幼小連携の部分も含めて貴重な幼稚園である。</p> <p>区立幼稚園の運営にはお金がかかること、そのお金は私たちの税金から使われているため全ての区立幼稚園を残すことは難しいことは理解しているが、もう一度、閉園対象になっている園を閉園していいのか考えてほしい。</p>	(前ページの続き)	
263	<p>立地条件だけで廃園対象を決めている点が不明。実際の施設やこれまでの幼稚園の実績などを鑑みて判断してほしい。特に町屋幼稚園は幼小連携モデルとしているにもかかわらず、対象となっている理由がわからない。</p>		
264	<p>選定基準に疑問を感じている。幼小一体化のモデル園のはずだが、なぜ廃園の対象になってしまうのか。</p>		
265	<p>廃園対象の選定基準が明確になっておらず、また令和9年度からの方向性がしっかりと確立されていない。</p> <p>モデル園としての任期が来年で終了との事、もしそれが選定された理由の一つであるならば、今まで積み上げてきた研究結果をご覧になっていないのかと思ってしまう程、素案との矛盾も感じている。モデル園の町屋幼稚園を残すことで、今後の幼小連携推進に役立つ事が多々あるはずである。</p>		
266	<p>公立幼稚園の教育方針を希望して入園する人がいる。また、幼小連携の研究も半ばに、廃園になってしまうことを大変残念に思う。ちょっとした立地条件で廃園の園を決定するのも、納得がいかない。</p>		

267	<p>子どもが減ってきているので、幼稚園数を減らす事には賛成。ただ、閉園する園を地図上だけで決めたようにしか思えないので、閉園の選定に反対。幼小連携を謳い、質の良い教育をという割に、小学校併設の幼稚園が閉園対象に入っている事に違和感を感じる。</p> <p>4園閉園後、給食や預かり教育もするとの事だが、園庭の狭い幼稚園を残し、人数が減ったとはいえ、子どもがそこに集中すれば、思う存分で遊ぶ事もできないのではないか。室内だけの遊びで果たして質の良い教育になるのだろうか。狭いからといって、近所の公園に毎日のように出かけるのであれば、新たな問題も浮上してこないだろうか。(不審者問題や事故など)小学校併設園なら校庭も使えるのに、わざわざその選択を取るのには疑問でしかない。</p> <p>近隣に私立幼稚園があるから、町屋幼稚園を閉園対象にしたとの事だったが、いつ幼稚園事業から撤退してもおかしくない上に、募集人数オーバーしたら入れない事も多々ある私立しかない峡田地域には不安しかない。</p> <p>8園から4園にと決めたのは、子どもの数が半減したからという単純な計算だったが、給食や預かり教育が始まれば、保育園や私立を検討せざるを得ない家庭の子どもたちも公立幼稚園が選択肢に入ると予想される。そう考えると、頑なに4園にすると決めず5園や6園でも良いのではないか。</p>	(前ページの続き)	
268	<p>小学校が隣接している園を優先して残すことが妥当ではないか。</p> <p>地域の配置バランスを重要視するなら、送迎バスを所有しどこからでも通園可能な私立幼稚園よりも、徒歩通園の区立幼稚園の配置を優先して考えるべきだと思う。</p>		

269	<p>下記の理由により、汐入こども園(短・中)継続を希望する。</p> <p>(1) 南千住地区には私立幼稚園はなく、徒歩で通える幼稚園が少なすぎる。災害時など非常時の迎えを考えると、徒歩で通える距離に幼稚園があると安心である。</p> <p>(2) 3歳児の定員が少なすぎる。3歳から幼稚園に入園する子どもが増えており、入園し友達や先生や環境になれた4、5歳で転園を考えるケースは少ないため、3歳時の定員を増やすことができれば入園者は増えると思う。</p> <p>(3) 就学前教育と小学校教育の円滑な接続ができるよう、小学校との連携ができているため、素案に書かれていた、区立幼稚園に求められる機能を果たしている。</p> <p>(4) 一時保育、子育て支援サロンが設置されているため、入園前から通うことで円滑に園生活に入っていくことができる。</p> <p>(5) 給食提供はすでに実施されており、保護者のニーズに合っている。また、子どもたちが育てた野菜を、給食で食べる等の食育にも力を入れており、そのような学びの機会を幼稚園の子どもにも経験してほしい。</p> <p>(6) 私立幼稚園の制服代や遠足等の行事費用、送迎のバス代等は、無償化の対象となっておらず、私立幼稚園と比較した際の費用面における区立幼稚園の優位性はなくなっていない。</p>	(前ページの続き)	
270	<p>少子化の影響で園児数が減っているというが、子育て世帯にとって家の近くで安心して子どもを預けられる区立幼稚園がなければ、区立幼稚園がない地域を選択しなくなるのではないかと。</p>		
271	<p>園が少なくなることで、支援や配慮が必要な子は区立へ、の要素が濃くなり、近所だから通いやすいという理由でのお子さんが少なくなり、多様性が低下すると考えられる。</p>		
272	<p>歩いて通える幼稚園が区立幼稚園のいい所であるのに、4園閉園は一気に減らしすぎではと思う。なぜ区立ばかり減らすのか。</p>		
273	<p>小学校と併設している園はとてもいい環境が整っているのに、なぜ閉園にするのか。通園距離が遠くなり、私立幼稚園しか選べないのもおかしい。</p>		

274	小学校と併設している園はとてもいい環境が整っているのに、なぜ閉園にするのか。	(前ページの続き)	
275	地域わりを4つにしたことはあまりにもおおざっぱで、小学校併設の幼稚園が残らないことに意味が分からない。幼稚園、小学校、中学校へとスムーズに通えるためには小学校併設の幼稚園は残すべきである。		
276	瑞光地区は明らかに幼稚園の数が少ないと思う。		
277	素案には、残る区立幼稚園の方向性も示されているが、将来的には区立幼稚園をゼロにして私立幼稚園を支援するかたちにしていきたいという考えもあるのか。それとも、残す予定の4園を充実させ、絶対に存続させていくという考えなのか。		
278	今回の素案は、将来的に荒川区立幼稚園を廃園にするための段階的措置なのか。		
279	これから、より少子化に向かっていくので、区立幼稚園が少なくなるのはある程度仕方の無いことかもしれないが、区立幼稚園という選択肢を長く残してほしい。		
280	素案を見たが閉園しなければならない程の理由が見つからない。地域に愛され歴史ある区立幼稚園を閉園するより、存続させる方法を考えるべきである。	区立幼稚園が長く地域の皆様に愛され、これまでに多くの園児が地域で育てられてきたことは、荒川区の地域力の高さとして誇れるものであります。近隣の区立幼稚園の閉園後も、区は地域の皆様と共に、子どもたちへ一層の支援を続けてまいります。	
281	南千住第三幼稚園の近くの商店街や老人ホームなどは、子どもたちと地域の方との交流の場になっていて、貴重な体験がなくなってしまうのはとても残念である。		
282	荒川区の幼児教育における考え方はとても素晴らしいものだと思う。世情に合わせて、変化することは賛成である。区立幼稚園の魅力のひとつは、近所と呼べる場所に園があることであり、そこから交流が生まれ、安心・安全に繋がると思うため、地域バランスに配慮した再配置において、園の数を減らすことには賛成できない。		
283	地域バランスという機械的なくくりは賛成できず、歩いて通える範囲の園として、今が最適である。		

閉園についての意見		
284	<p>廃園に選ばれた理由が「地域バランスに配慮」だけでは、到底納得できない。</p> <p>なんの為の「幼小連携のモデル校」なのか。</p>	<p>区立幼稚園でこれまで積み重ねてきた全ての教育活動は、閉園とともに無くなるのではなく、他の区立幼稚園に引き継ぎ、発展させ、区立幼稚園が目指すべき方向性を実現してまいります。特に、町屋幼稚園と第七峡田小学校での幼小連携事業につきましては、他の未就学施設に対しても広く還元していくことで、荒川区全体の就学前教育の質の向上に寄与してまいります。また、全ての園で、再配置後においてもこれまでの取り組みを縮小することなく、連携する小学校の広い校庭を有効活用し、運動機能向上に資する取り組みなど推進できるよう連携を図るとともに、交流教育や研究会等を引き続き実践してまいります。</p>
285	<p>私は町屋地区に1つはあるべきだと思う。</p>	
286	<p>減らしたものはもう2度と増やせないのでは。</p> <p>町屋5丁目から花の木幼稚園まではかなり距離がある。家から近いというのは大変重要な要素なので今ある幼稚園を減らすなど考えられない。荒川区の子育て支援には一目置いていただけに残念でならない。</p>	
287	<p>同じ敷地内に幼稚園があると年長から小学校にも行ったりするので、入学した時にすぐ馴染め、親としても安心である。</p> <p>こういう環境の幼稚園はあまりないので、無くしてしまうのは非常に残念だし反対である。</p>	
288	<p>地域バランスに配慮した再配置に伴い閉園が検討されている4園については、対象となる園に再考の余地があると考えます。</p> <p>この度の素案には、「就学前教育と小学校教育の円滑な接続ができるよう、小学校との一層の連携強化が求められる」との記載があるが、連携強化を掲げる一方で、モデル事業の対象である町屋幼稚園を閉園の対象としていることは整合性に欠ける。第七峡田小学校幼小連携モデル事業は、今後、幼小連携を一層推進するにあたって実施されている先駆的な取り組みであり、これから幼小連携を導入していく区内の幼稚園、小学校のみならず、都内の幼稚園、小学校にとって、文字通り「モデル」となる存在である。本モデル事業を一層推進するには、第七峡田小学校と一心同体ともいえる町屋幼稚園の存続が欠かせないと考えます。</p>	
289	<p>素案では、「区立幼稚園と小学校との連携強化」とあります。</p> <p>町屋幼稚園は教育委員会が指定する「幼小一体化モデル園」として、隣接する第七峡田小学校とスムーズな就学に向けた様々な取組を実施し、効果をあげてきた。町屋幼稚園を閉園にするのではなく、延長保育や給食の実施等、ぜひ存続に向けた努力をしてほしい。</p>	

290	<p>教育課程の研究や研究授業等を通して、幼稚園、小学校の先生方が接続への意識を高くもたれるようになり、第七峡田小学校にななはけラボを設置して幼児の活動や生活科の授業を行うなどの様々な工夫を通して、幼児と児童の育ちが確実に繋がってきている。今後、荒川区において、他の小学校や保育所・私立幼稚園にも保幼小接続を進めて行く中でのモデルやハブとなることを期待される中で、町屋幼稚園の廃園は大きな損失だと考える。</p>	<p>(前ページの続き)</p>
291	<p>幼小連携のモデル校としてやってきてるのにもかかわらず、閉園の対象になるなんておかしい。</p>	
292	<p>町屋幼稚園は小学校とも連携していて年長さんになると小学生との交流もあるのでスムーズに小学校というものに馴染めるともいい環境だと思う。</p> <p>よって、就学前教育と小学校教育の円滑な接続ができるよう小学校との連携強化を求めている、という事に最も適した幼稚園であり町屋幼稚園廃園に反対。</p>	
293	<p>素案では「今後も小学校と区立幼稚園の連携強化」とあるが、幼小一体化モデル園の町屋幼稚園を閉園することは矛盾しているように感じる。</p>	
294	<p>七峡小に併設されており、校長先生が園長も兼任されているので、園児と小学生が交流する機会もあり、双方にとって良い経験になることがたくさんある。</p> <p>そういった利点や関係性もあるのに、廃園にするのはもったいないと思う。</p>	
295	<p>町屋幼稚園は、七峡小と隣接している為、幼小一体化に最適な幼稚園である。小学校へ入学する時もすんなりと登校できる。環境の変化に敏感な時期には、とても大事なことである。</p> <p>都内は校庭が狭い学校や園が多い中、とても貴重な園だと思う。</p>	
296	<p>町屋幼稚園は隣接する第七峡田小学校との交流も盛んで、子どもたちが小学校への期待や憧れを持ち、進学することへのイメージを持ちやすい利点がある。今後も町屋幼稚園は存続を検討していただきたいと思う。</p>	

297	<p>第七峡田小学校の校内には、町屋幼稚園の児童が利用できる七峡ラボが設けられ、小学校児童、幼稚園児の交流はもちろん、先生方による交流も積極的に行われていて、保護者としてとても安心して子どもを任せることのできる素晴らしい環境である。</p> <p>町屋幼稚園を卒園した子ども達は、小学校進学に際しとてもスムーズに環境に馴染むことができている。</p> <p>荒川区が目指す「区立幼稚園と区立小学校の連携」に相応しい環境が町屋幼稚園にはある。</p>	(前ページの続き)	
298	<p>小学校に併設されているモデル園の町屋幼稚園が廃園候補にあがっておりとても驚いている。確かに町屋幼稚園の周りには多くの私立幼稚園があるが、そこに入れなかった多くのお子さんが町屋幼稚園に通い伸び伸びと幼稚園生活を送っている。</p> <p>今後、残された園はモデル幼稚園で行っているような時間延長や給食等の試みをするのであれば町屋幼稚園は小学校に併設されている為設備が整っている。無駄な税金を使わないためにも、今ある施設を有意義に使える園を残してほしい。</p>		
299	<p>町屋幼稚園は七峡小と隣接し、園行事で必要なものを七峡小から借りたり、学校と園、七峡PTAと町幼PTAとそれぞれ友好的に活動を助け合っている。隣接しているからこそ、幼稚園と学校が連携できることや異学年交流が可能になることが多くあるように思う。地域バランスも拝見したが、特に峡田地区においては私立幼稚園が多くあり、町屋幼稚園を廃園とするのは、私立幼稚園へ配慮した素案のように感じられた。他の3園に関しても、保育園に入園できなかった子を受け入れていたり、幼稚園での子育てを希望する親の選択肢を狭めてしまう結果になるのではないかと感じる。</p> <p>荒川区にはこれまでも3歳児クラス導入など率先して区立幼稚園の教育に力を入れてきた。</p> <p>小学校と連携が可能で環境も整っている町屋幼稚園の存続を希望いたします。</p>		
300	<p>幼稚園生も小学生もどちらもとても良い刺激になるので、閉園することは避けていただきたいなと強く思う。</p>		

301	<p>七峡小学校と隣接した幼稚園を閉園する必要はない。</p> <p>幼稚園を卒園した子どもたちが小学校に上がり成長し、隣接した幼稚園児へ、妹、弟のように接して共に成長していく。こんな、素晴らしい環境をなくさないで欲しい。</p>	(前ページの続き)			
302	<p>第七峡田小学校は町屋幼稚園と幼小連携の取り組みをしており、新一年生の子どもがスムーズに就学できる取り組みで、とても安心感がある。</p> <p>近隣住民として、町屋幼稚園は地域に密着した素晴らしい幼稚園だと思う。</p> <p>どうか閉園ではなく、継続できる努力を願う。</p>				
303	<p>義務教育の小学校との連携という意味で、特に校舎に併設された園を廃園にする意味がわからない。</p> <p>近隣小学校との連携はあるが、物理的に園舎校舎の離れた園で連携と言われても具体性が伴わず、子どもも保護者も想像ができない。</p> <p>保護者の手を離れる小学生は、1人で行動するようになる。</p> <p>その行動範囲は区立幼稚園の降園後の遊び場と重なる。</p> <p>そこに小学生が遊びに来れば顔見知りになったり、卒園児であれば顔を知っていたり、兄弟の友たちであればそこから見知った人になる。繋がることできる。</p> <p>子どもたちがいる遊び場に、いつもいる、知っている大人がいるということが子どもに安心安全を提供できるのではないだろうか。</p>				
304	<p>地域に根ざした公立幼稚園が閉鎖されることにより、さまざまな事情を抱えたお子さん、その保護者の選択肢が狭められてしまうことを危惧する。</p> <p>公教育に求められるものは私学とはまた違い、公教育こそ教育の要であるべきだと私は思っている。それぞれの地域に根ざした、こどもたちが徒歩で通える範囲の幼稚園。地元との繋がりを意識することは、いざという非常時の際の連携にも有効だと考える。以上の点からもぜひ町屋幼稚園閉園について再考願いたい。</p>				

305	<p>区立幼稚園の再配置については、町屋幼稚園は、七峡小学校との連携プログラムがあり、就学前教育から小学校教育へとスムーズに移行できる為、必要だと感じる。</p>	<p>(前ページの続き)</p>		
306	<p>素案に記載されてる通り、就学前教育から小学校へスムーズに移行できるよう実践例を蓄積していくのであれば町屋幼稚園は存続に値すると考える。園長と校長が同じで身近にいる区立幼稚園を地域のバランスという理由だけで閉園の対象園にするのはもったいない。</p>			
307	<p>質の高い幼児教育の実現や小学校との連携を重視するのであれば、区立幼稚園、そして小学校敷地内にある町屋幼稚園を廃園にするのはおかしい。この先長い教育期間の中で色々な立場の子どもたちが共存できるのは幼稚園期間だけだと思う。</p> <p>子どもたちはその中で、思いやりや助け合いを学ぶ、そういった場を奪わないでほしい。</p> <p>教育費無償化といっても私立は制服代や遠足などに相当な費用がかかる。町屋幼稚園区域の方が町屋幼稚園がなくなった際、通える範囲にあるのは私立園だけになる。費用面で区立希望の方はどうするのか。また、教育内容などから私立ではなく区立に入れたい、という方はどうするのか。</p>			
308	<p>幼小の連携はとても大切な事である。</p> <p>併設の園でなくても小学校との交流はできると思うが、併設され、尚且つ校長や教職員の皆様の連携、そして何より子ども目線での一体感は、全然違うと感じる。</p> <p>地域バランス等いろいろあると思うが、併設園はとても大事だと思う。</p>			
309	<p>町屋幼稚園が閉園の対象になっているが、「小学校と隣接されている幼稚園」というのが個人的な意見であるが最大の魅力である。この環境だからこそ年上の小学生との交流、校庭や体育館も共同で使用することができ、町屋幼稚園の近辺の私立の幼稚園では実現不可能なので、かなり貴重な環境である。入園者が少ない、位置関係等の問題で閉園を決定付けるのは納得がいかない。</p>			

310	<p>入園前から障がいがあることが分かっている場合、障がいを理由に私立に受け入れてもらえない。町屋地区のお母さん、お父さんが困らない様にもう一度再考していただきたい。</p> <p>町屋幼稚園は町屋地区に絶対に必要な幼稚園である。</p>	<p>(前ページの続き)</p>		
311	<p>区立幼稚園を選んで入園させる家庭はお弁当延長保育なしのデメリットはあるが、それ以上に区立幼稚園の良い所が沢山ありここに入園させたい、と強い思いで入園させている。</p> <p>私立幼稚園とは比べ物にならない広さの環境で色々な体験をする事ができる。区立幼稚園ならではのカリキュラムなど沢山あるのでこの伸び伸びした環境を無くしてしまうのは絶対止めてほしい。</p>			
312	<p>せっかく積み上げてきた研究の成果が無に帰してしまう危険性がある。</p> <p>幼小接続のモデル園として、小学校の併設である町屋幼稚園の存続を要望する。</p>			
313	<p>「質の高い教育」は人数が少ないから場所をへらすという考え方は間違いだと思う。これからは増々一人一人を大切に作る時代ではないか。町屋幼稚園は残すべき幼稚園である。</p>			
314	<p>東日暮里幼稚園は第三日暮里小学校と同じ建物の中にあるので、小学生との交流もあり、小学生になるイメージが付きやすかったり、校内のことも事前に知ることができた。</p> <p>5年生になると東日暮里幼稚園の年長さんのお世話をし、年長さんが小学校に入学すると6年生が最上級生として1年生をお世話する。兄弟がいない子どもにとってとてもいい経験である。東日暮里幼稚園は存続してほしい。</p>			
315	<p>東日暮里幼稚園は小学校との連携がしっかりしていて、そのまま進学する人が多い。</p> <p>支援を要する子達と一緒に過ごす事で他者を認め、助ける心を育てられる環境にあるのは公立幼稚園、少人数だからこそだと思う。どうか廃園予定を撤回して頂き、何が子ども達にとって良い環境なのか今一度、検討して頂きたい。</p>			

316	<p>小学生にとっても幼稚園児と交流を持つことは良い経験になると思う。そういった体験をさせてもらったので、廃園にしてしまうのは勿体無いと感じる。</p>	<p>(前ページの続き)</p>		
317	<p>東日暮里幼稚園を含めた区立幼稚園の存続を希望する。</p> <p>幼稚園と小学校が併設している場所は連携がスムーズである。場所が同じ、校長と園長が同じ、幼稚園教諭と小学校教諭が他の幼稚園や保育園に比べて連携が取れている。</p> <p>この事から社会的に問題となっている『小1プロブレム』が起きにくい。存続するだけで、社会的問題が防げる。</p>			
318	<p>東日暮里幼稚園について</p> <p>施設についても充実しており良く活用されていると思っている。地域住民の理解も高く協力的に行事ごとなどなされこの地域に必要な存在だと思う。下の子ども是非同じ園に通わせたいと思っている。</p>			
319	<p>送り迎え時の先生や保護者との連携、併設している濃い連携が取れている小学校に通うことで子どもが安心できる。</p> <p>廃園は踏みとどまっていたきたい。</p>			
320	<p>小学校と隣接している幼稚園は、子どもが入学前から慣れることができ、子どもの教育のためにとっても大事である。</p> <p>私立と違い、色々な家庭環境、また外国人の園児もいることで、園児同士が助け合って来たことは、子どもが小学校に入ってから成長に大きく影響を受けている。</p>			
321	<p>幼小一貫教育の理念を通すならば、私立園の協力を仰ぐのももっともだが、小学校併設の幼稚園を廃止するのが矛盾であることは明確である。</p>			
322	<p>今後幼稚園の通える辺りでマンションがたくさんできるという記事を見た。6年度以降までに入園児が増える見込みがあるとしたら、閉園することを考え直してほしい。</p>		<p>一過性のマンション建設における需要もまた一過性のものである可能性が高く、区の責任として適切な対応を図ってまいります。</p>	

323	<p>質の高い幼児教育を目指すために区立幼稚園を減らすことは論点がずれている。</p> <p>汐入公園の空気を吸いながら友達というかけがえのない宝とともにそれを大切にのびのび成長を見守るこの汐入こども園は残すべきである。募集が少ないというが、そもそも0歳の枠が少ない。</p> <p>汐入こども園は小学校とも連携できており、ここがなくなることは、小学校や中学校に通う子どもたちにも精神的な喪失感を与える。コロナ禍において、ただでさえ不安定な今の子どもたちに対してさらに追い討ちをかける。もっと全体をみてほしい。子どものために受け皿は狭めないでほしい。汐入こども園にしかできない教育がある。</p>	<p>汐入こども園の短・中時間保育は令和8年度末に廃止となりますが、長時間保育は引き続き新入園児を含めて保育を実施していくこととなります。定員につきましては、新入園児の人口等を基に受入人数を決定しております。今後も地域の子どもたちが生き生きと成長することのできる保育の場の提供及び保育を実施してまいります。</p>	
324	<p>区立幼稚園の給食提供や預かり教育の拡大とあるが、汐入こども園はすでに対応しているので、短・中時間を廃止せず残すべきと思うが、長時間保育も廃止が決定されているのか。</p>		
325	<p>汐入こども園は、幼稚園だけでなく保育園の役割も担っている。また、一時保育・交流サロンをはじめ地域の子育て支援のプラットフォームとして重要な役割を担っている。</p> <p>先生たちもとても熱心に子どもたちに関わってくれており、幼稚園も預かり教育などしっかりと要望を実現すれば園児も増えると思う。</p> <p>区立園として他の区にも自慢できるモデル園を作ろうって気にはならないのか。(2件)</p>	<p>汐入こども園は、汐入地区における幼稚園及び保育園需要の急激な増加に応えるために設立された経緯があり、幼稚園需要が減少している現状においては幼稚園としての当初の役割を全うしたものと考えます。</p> <p>これまでに取り組んでまいりました併設する汐入東小学校との交流は、取り組みを縮小させることなく、園の再配置後は、連携する小学校の広い校庭を有効活用し、運動機能向上に資する取り組みなど推進できるよう連携を図るとともに、交流教育や研究会等を引き続き実践してまいります。</p>	
326	<p>汐入こども園の説明会を聞き、あまりにも把握されてるものと現実が違うことに驚いた。汐入こども園だからこそ両方の良さがある質の高い幼児教育が実現できているのに残念でならない。</p> <p>デメリットしか理解できなかった。完全に無くすのではなく枠は少し残してはどうか。</p> <p>むしろ現実には3歳の幼稚園枠が足りないので広げてはどうか。そして部屋の広さがなどの理由ならば他の工夫をしてはどうか。汐入こども園に関しては他の幼稚園と同じ理由では納得できない。</p>		

327	<p>子どもの人数の減少により、汐入こども園から保育園にしていくという区の方針も理解はできたが、そもそもなぜ区に唯一のこども園は設立されたのか。</p> <p>汐入東小学校の下に作られたのは 乳幼児期から学童期まで一連の流れでの教育という目標があったのではないか。</p> <p>汐入東小学校のプールや図書館を利用したり、来年就学を控える年長クラスが小学生と交流が持てたり、とても良い環境である。</p> <p>小学校教諭の免許で保育園の園長になれるのか。保育園になると、働く先生方の資格は保育士資格のみでも良くなるのか。</p> <p>汐入こども園は、短中長時間保育が選べ、多様な保護者のニーズにも応えることができる施設で有難い。是非もう一度 汐入こども園の幼稚園の廃止については検討いただきたい。</p>	(前ページの続き)	
328	<p>幼保一体の汐入こども園の良さをわざわざなくすことのメリットが感じられない。区立幼稚園をなくすのと同列に汐入こども園の幼稚園枠をなくそうとしているようにしか思えない。</p> <p>汐入こども園は保育園枠で入園しても幼稚園と同等の環境・内容を受けられる貴重な環境である。幼稚園枠をなくしてしまうことは、これまで築いてきた汐入こども園の良さが失われるばかりである。保育園が厚労省の管轄、幼稚園が文科省の管轄と分断されていることが根本にあることは百も承知であるが、そのような枠組みを超えて保育と教育を同時に実現できる貴重な場であるはずである。昨今世の中で多様性が重要視されているにもかかわらず、汐入こども園から幼稚園枠をなくして幼稚園と保育園を分断するような今回の素案は、時流にも逆行しているとしか思えない。汐入こども園の幼稚園枠に関しては素案から除外し、存続することを希望する。</p>		

329	<p>子育て世代がこれからどこで子育てしようか考えて引っ越す際に一番重要視するのが、その地域の子どもへの支援の充実、子育てしやすい環境が整っているか、また教育へどれだけ力を入れているかだと思う。</p> <p>汐入こども園で行われた説明会では子どもの減少が原因で幼稚園閉鎖が行われると受け止めた。しかし、明石市では子どもへの支援の充実を拡張し子育てしやすい街というのを大々的に打ち出し、それによって子育て世代の増加が見られている。</p> <p>大胆な発想ではあるが子どもが減少しているから幼稚園の閉鎖という端的な考えではなく、子どもが減っているからこそ少ない子どもに対しての支援(金銭的な支援、教育の選択肢の幅等)を充実させ長期的な目で見て子育て世代の増加を狙うべきなのではないか。</p> <p>幼稚園閉鎖というだけで選択肢の幅が減る。</p>	(前ページの続き)	
330	<p>利用者数が少ないから公立が廃園を選ぶという短絡的な発想ではないか。入園する子どもの数の減少は、廃園以外に回復の手立てがないとは思えない。国の幼保一体と謳った時期にできた汐入こども園はモデルケースと思ったが、20年経たずにその形を壊すのか。どんな試算で汐入こども園を開設したのか。</p> <p>一方で、まだ新築マンション建設があると聞く。また、その家庭の子どもを区外に逃すのか。日経新聞の子育てしやすい街のランクでも上位にいられるのは、今の状況あつてのことではないのか。</p>		
331	<p>何のために汐入こども園を創ったのか。質の高い良い教育のためであれば、汐入こども園を壊すということは、荒川区の教育の退化にならないのか。未来の宝の子ども達が少なくなっているのであれば、良い教育をより目指していかなければならないと考える。</p> <p>共働きで保育園に預ける時、幼稚園のような教育を受けることを望む。汐入こども園は必要である。</p>		

332	<p>子どもの預け先や汐入地区の子育て情報発信の拠点として、重要な場所となっている。地域とのコミュニケーションにも非常に大事な場所となっている。防災的にも、災害時避難所にも担っており、災害時備蓄も完備されている。こんな園を人口が減るからという簡単な理由で、廃園して良いものか。</p>	(前ページの続き)	
333	<p>荒川区の現状を鑑みて、検討された区立幼稚園の方向性については理解したが、汐入こども園の短・中時間保育については存続すべきと考えるので、意見・質問を述べさせていただく。</p> <p>1.園児数について</p> <p>汐入こども園の3歳児クラスは、募集人数が少なく、毎年抽選となるほど人気がある。4、5歳クラスでは3歳クラスより定員が増えるが、このタイミングで他園からの転園や新規に入園する子どもは少ないため、これらのクラスでは定員割れしているように見えるが、実際の需要は他の定員割れしている区立幼稚園よりあると考える。よって、適切でないと思う。</p> <p>2.交流サロン</p> <p>区立幼稚園で子育て交流サロンを実施しているのは、汐入こども園だけであり、入園する以前から園や先生方の雰囲気を知ることができる点では貴重な取り組みと考える。</p> <p>3.瑞光地区の幼稚園</p> <p>瑞光地区には私立幼稚園がなく、この地域での幼稚園の選択肢が著しく少なくなってしまう。通常の送り迎えもそうだが、特に災害時など徒歩で迎えに行くことを考えると、区立幼稚園を一つにしてしまうのは大きなデメリットである。</p> <p>4.汐入こども園の意義</p> <p>汐入こども園は、長時間保育だけでなく、短・中時間保育も実施している点が他の保育園・幼稚園とは大きく異なる特色であるが、短・中時間保育を廃止すると特色が失われ、保育園となってしまうのではないかと考える。汐入こども園に長時間保育で通う園児にも影響がでてしまうのではないかと心配している。</p>		

334	<p>汐入こども園と町屋幼稚園の存続の要望</p> <p>子ども的人数が減っているので、全園を残すことが難しい状況もわかる。しかし、一度に4園も減らす必要が本当にあるのか。以前に園の数を減らした際も2園ということであったが、まず2園、など徐々に行うことは難しいのか。働いているものとしても勤務の保障など不安があり、具体的に人員の配置の見通しについてご説明いただきたい。</p> <p>特に、町屋幼稚園と汐入こども園については、特色のある保育を行っている。区全体のために、存続を強く要望する。</p> <p>子育てのセンターとして期待される役割が、汐入こども園には全て揃っている。新しいことを立ち上げるよりも、今すでにあるものを継続していく方が資金面でも仕組みづくりといった視点でもコストが低いはずだが、なぜあえてなくすのか。そもそも荒川区は「総合的なサービスができるこども園が必要だ」と考えて立ち上げていたはずだが、無くすということはもういらないと考えているということか。</p> <p>3歳児の幼稚園枠が少ないことについては、4、5歳児の人数が増えない大きな要因である。園にヒアリングを行っていただくなどし、枠を増やしていただきたい。</p>	(前ページの続き)	
335	<p>汐入こども園の廃止について区民、南千住の住民に対して、十分に検討されているように見えない。</p>		

336	<p>自然災害も含めて、何があるかわからない世の中なので、徒歩圏内にある幼稚園は必要不可欠な存在である。</p>		
337	<p>今一度廃園予定の園の地域での必要性などを検討していただければと思う。</p>		
338	<p>他の区ではとうの昔に公立幼稚園が閉園になり、私立の保育園・幼稚園に置き換わっているのは存じている。区の財政からも私立化を望ましいと考えているのは理解する。</p> <p>しかし、質の高い幼児教育に力を入れる事は未来への投資である。これらを踏まえ公立幼稚園の閉園を再考いただきたく、意見を提出する。</p>	<p>区立幼稚園の再配置につきましては、荒川区内の幼稚園配置における地域バランスの配慮</p>	
339	<p>私立でのカリキュラムや活動などもとても魅力的である。</p> <p>しかし、区立ならではの人間関係の繋がり、地域の方や、障がいがある子との触れ合いなども人としての思いやりも学べる。子どもが子どもらしく活動出来る区立幼稚園。そんな素晴らしい場所を無くさないで欲しい。</p>	<p>園児数の推移および幼児人口の状況 各地区の状況や各園の施設環境など 以上の観点から、総合的に判断しております。</p> <p>これまで積み重ねてきた全ての教育活動は、閉園とともに無くなるのではなく、他の区立幼稚園に引き継ぎ、発展させ、区立幼稚園が目指すべき方向性を実現してまいります。また、特別な支援を必要とする園児への配慮を検討するほか、新たな充実策を着実に実行することで、保護者の就労等に関わらず、幅広く区民の皆様にご覧に区立幼稚園を選択いただけるものと考えます。</p> <p>区立幼稚園に愛着と信頼をお寄せくださっている皆様には、心より感謝申し上げますとともに、引き続き残る園へのご支援をいただきたく、ご理解とご協力をお願い申し上げます。</p>	
340	<p>区立幼稚園はその地域で必要とされている。手厚く見ていただけ、暖かくて、子どもたちも大好きな場所である。そんな場所を奪わないで欲しい。</p> <p>人数が少ないことで集団活動の質が下がるなど説明があったが、先生方が日々色々考え準備し、素晴らしい指導をしてくださっている。先生方にも失礼である。また、人数が少ないので増やすために保護者も動いている。人数を増やすための活動は幼稚園や保護者側に任せ、その成果が無ければ閉園というように感じられる。</p>		
341	<p>区立幼稚園が各地域に残り、どんな子ども達も受け入れ、子ども達の育ちの場には惜しみなく区税を使ってほしい。</p>		
342	<p>コロナがなかなか終息しない現状の中で、子ども達に、これ以上、負担をかけないでいただきたい。</p> <p>子ども達の居場所を奪わないで欲しい。子ども達の選択を狭めないで、子ども達の心を守って欲しい。</p>		

343	<p>区立幼稚園を求めている園児や保護者が、一定数は必ずいる。多様化している社会を見つめれば、自ずと、選択性の大事さに気付くはずである。色々な考え方があり、色々な生き方がある。子どもは、成長していく中で、節目節目で自分と向き合い、選択していかなければならない。幼児期は、親が子どもになりかわって、選択する。それは、今も昔も変わらない。</p> <p>なぜ、区立幼稚園と私立幼稚園が、長年、あり続けたのか。それはどちらも求めている人々がいるからで、どちらも必要だからだと考える。</p>	(前ページの続き)	
344	<p>すべての区立幼稚園、子ども園の存続を願う。</p> <p>「子どもの最善の利益」を重視した子どもの権利条約を日本は1994年に批准した。子どもたちは、子どもどうしで遊び、学びをすることでより人間としての土台が創られていく。2歳～6歳はとても大切な年齢期である。</p> <p>幼稚園での取り組みは、創立70年以上の歴史を積み重ねていたり、教職員は日々、子どもを愛し、教員・保育士集団として子どもたちの生活がより良いものになるようにと尽力されている。家庭だけではできない体験がたくさんある。</p> <p>立地が、居住区と密接していることは重要。送迎だけでなく、地域で子どもを育てる環境は子どもにとっても保護者にとっても重要。</p> <p>区立幼稚園数は以前は10園あり、現在は8園である。これ以上は決して廃止しないほしい。子どもは社会の宝である。子どもの保育・教育への投資は未来へつながる。</p>		
345	<p>荒川区立幼稚園の役割及び存在価値について区民の多くが納得し今後も必要と感じているものと考ええる。</p> <p>この度の区立幼稚園の統廃合については、行政サービスの効率化や財政状況等を鑑みての具体的な施策と理解はしている。</p> <p>しかし長き歴史と伝統を持つ区の幼児教育を縮小・廃止することについては人材育成の観点においても荒川区のマイナスとなることと考える。</p> <p>については荒川区立幼稚園が子育て及び幼児教育の基幹として存続するようお願いする。荒川区立幼稚園統廃合について再考をされたい。</p>		

346	<p>幼稚園が自分が住む地域にあったからこそ、家の近くにお友達ができ、小学校にも不安を抱かずスムーズに入学できたと考える。また、カリキュラムに縛られるのではなく、一人一人の個性を生かした幼稚園生活を送らせてくれる区立幼稚園はとても大事だと思う。これからの子どもたちのために、区立幼稚園を廃園しないでほしい。</p>	<p>(前ページの続き)</p>
347	<p>幼稚園をどんどん減らしていくのは簡単だと思うが、新たに増やすのは大変である。</p>	
348	<p>このような素晴らしい施設、無くすのは簡単である。</p> <p>説明会で、閉園しても、また人数が多ければ復活させることもできますと言っていたが、そんなことはしないはず。今一度区立幼稚園の必要性を考え、本当に無くしてしまっているのかどうかを考えていただきたい。</p> <p>また各区立幼稚園の宣伝をして、預かり教育や給食などいろいろ園児を増やすための対策をやってみてもらえないか。</p>	
349	<p>幼稚園が次代のニーズによって変わっていくのは仕方がないことだと思うが、園自体がなくなってしまうと困ってしまう方もいる。</p>	
350	<p>区立幼稚園の廃園については、建物の老朽化や周辺からの需要等、致し方ない面があることは承知している。できる限り園の存続を願う。</p>	
351	<p>子どもにも色々な性格の子どもがいる。</p> <p>区立幼稚園は私立幼稚園と比べて先生の年齢層の幅がとても広く「ベテラン先生」と言われており、子どもを任せられるという安心感もある、初めての育児の保護者、そうでない保護者にとってもとても頼もしい。そんな安心できる場所を極端に減らしていいのか。</p>	
352	<p>幼稚園と小学校が隣接している幼稚園は大変珍しい、他の幼稚園では体験できない事がある。学校と隣接している事で小学校を近くに感じ「早くランドセルを背負って小学校へ行きたい」という子どもたちの意欲も高まると思う。保護者全員が、私立幼稚園に通わせたい、保育園に通わせたいと思っていない。</p> <p>子どもとの時間を大事に大切にしたいという保護者もいる。</p>	

353	<p>いくら区立幼稚園のニーズが減っているとはいえ、必要な家庭もいる。多種多様に合わせて選べることは必要なのではないか。また支援が必要な子ども達は年々増加傾向にあるのに関わらず私立に入園できず区立幼稚園に通われている子が多い中、区立幼稚園を一度に4園も閉園するのはちょっと理屈が通っていない。</p>	<p>(前ページの続き)</p>			
354	<p>幼稚園の希望者は年ごとに増減がある。また、必ず毎年近くの私立から途中編入してくる子がいる。一気に4園に減らす事で、抽選になったり、定員がいっぱいで途中入園ができないなどという事にならないかどうか心配である。</p>		<p>ご指摘の学級編制基準につきましては、効果的な教育活動及び適正な幼稚園運営を行うために設けている基準であり、園の再配置に関して影響するものではないと考えます。</p>		
355	<p>人数が減っているにしても、配慮の必要な子どもが増えているのであれば、一気に廃止してしまうのは逆効果なのではないか。</p>				
356	<p>地域バランスを取るとは言え、一気に閉園するのはいかがなものか。閉園ではない方法はないのか。</p>				
357	<p>区立幼稚園廃園の検討に入るのは、園児が2年連続一桁台であった場合のみ、これは公に約束されている。まずは約束に反した現時点での廃園計画を取り下げて頂きたい。</p> <p>今まで、日本語の不自由な子、障がいのある子、私立幼稚園に受け入れてもらえなかった子、いじめがあった子の受け入れ先としても、区立幼稚園は大きな役割を果たしてきた。これらの問題はどうか解決していくのか。</p>				
358	<p>閉園対象の決まりとしては園児が一桁の年が2年続いたら廃園計画に入るそうなのに、この決まりを違反した今回の内容には驚きと疑問しかない。園児は現在一桁ではない。</p>				

359	共働きが当たり前の今の社会で、園を廃止するなど、目的がわからない。区民に対して、しっかりとした説明を求める。	<p>区立幼稚園の再配置につきましては、荒川区内の幼稚園配置における地域バランスの配慮 園児数の推移および幼児人口の状況 各地区の状況や各園の施設環境など 以上の観点から、総合的に判断しております。</p> <p>これまで積み重ねてきた全ての教育活動は、閉園とともに無くなるのではなく、他の区立幼稚園に引き継ぎ、発展させ、区立幼稚園が目指すべき方向性を実現してまいります。</p> <p>区立幼稚園に愛着と信頼をお寄せくださっている皆様には、心より感謝申し上げますとともに、引き続き残る園へのご支援をいただきたく、ご理解とご協力をお願い申し上げます。</p>
360	区立幼稚園のいいところをもっともっと未就園児の人たちに知ってほしい。閉園はしてほしくない。	
361	町屋幼稚園を閉園に反対。子どもを3人通わせたが、色んな遊びができた、カエル、蟻、ダンゴムシ色んな生き物も触れることができる数少ない幼稚園である。また、小学生のお兄さんお姉さん、多年齢の子どもたちに触れ合える事でいい刺激になる、とてもよい幼稚園である。	
362	障がいがある娘は区立町屋幼稚園で大変お世話になった。区立幼稚園は障がいのあるなしに関わらず子ども、家庭にとってはとても大切な存在であり残してほしい。	
363	東日暮里幼稚園をなくさないでほしい。	
364	区立幼稚園は地域との交流があったり、小学校と併設している幼稚園では交流もあり、園児が少なくても教育の質が下がったとは感じていない。先生方や地域で暖かく見守る必要があるのではないかと。 区立幼稚園を必要としている園児、保護者はたくさんいる。	
365	区立幼稚園を必要としている人がたくさんいる。存続を希望する。	
366	我が子は南千住第二幼稚園を卒園した。公立ならではののびのびとした教育を受けさせて頂き今でも本当によかったと思っている。第二幼稚園は存続との事だが、他の幼稚園やこども園も存続して頂きたい。	
367	これから育ちいく子ども達のために公立幼稚園をなくさないでいただきたい。公立幼稚園は区の財産である。	
368	東日暮里幼稚園は私の思い出がたくさんたくさん詰まっています私の大好きな東日暮里幼稚園である。絶対になくさないでほしい。	
369	東日暮里幼稚園が継続することを望む。	
370	昔通ってた幼稚園がなくなるのは悲しい。	

371	<p>学校が隣なので屋上のプールに入れる。 学校の校庭や体育館を使わせてもらえる。 幼稚園の時から校庭にいる小学生をみれる。 とても良く、楽しい幼稚園なので、なくさないでほしい。</p>	<p>(前ページの続き)</p>
372	<p>遠足でいいところに連れて行ってくれる。 やさしい先生がいる。 プールで遊べる。 楽しいおもちゃがある。 いろんなイベントがある。 親子遠足などがある。 いっぱい本がある。 してるお兄さんお姉さんがいるから安心。 とても楽しい幼稚園なのでなくさないでほしい。</p>	
373	<p>やさしい先生、キレイなおもちゃ、楽しい遊具、 広いホールにたくさん本がある図書室。 三日小の児童とふれあいができてすごく楽しい幼稚園である。 東日暮里幼稚園をなくさないでほしい。</p>	
374	<p>遠足や園内行事が充実している。 ホールの巨大ブロックなどおもちゃが多様。 小学校と隣接しているため小学生と関りが持てる。 運動会を小学校の広い校庭で行える。 知っている上級生がいるから安心して小学校に通える。 通いやすい幼稚園なので、なくさないでほしい。</p>	
375	<p>第三日暮里小学校に通っている。東日暮里幼稚園の時から友だちがたくさんいるからである。 幼稚園と同じ場所なので学校の中も知っていて一年生の時から安心できた。 ほかの小学校であれば学校になれるのが大変だったと思う。東日暮里幼稚園をなくさないでほしい。</p>	

376	新しい環境に慣れるまで時間のかかる息子であったが、楽しい小学校生活をおくっている。幼稚園の頃から小学生のお兄さん、お姉さんの姿を見て小学校がどんな感じなのか常に知ることができたこと、在園中から小学校の体育館や図書室、校庭を使わせてもらえたこと、校長先生や主事さん、司書の先生などが幼稚園と同じよく知っている人で安心できたからである。これは区立幼稚園でしかできない体験である。区立幼稚園を減らさないでほしい。	(前ページの続き)
377	東日暮里幼稚園を卒園した。今でもやさしくしてもらったところが心に残っている。なくさないでほしい。	
378	二人の子どもが区立幼稚園に入り、すごく良い思い出をさせてもらいました。このままずっと継続してほしいです。	
379	東日暮里幼稚園に通っていたので、なくなるのはとても悲しい。小さい子どもたちが遊ぶ場所なくなる。幼稚園があることによってお互いに勉強できる。	
380	東日暮里幼稚園は、小学校の中にあるので、他の幼稚園よりも習うことがいっぱいある。子どもたちにもお互いにいい勉強にもなる。	
381	思い出が詰まった東日暮里幼稚園をなくさないでほしい。	
382	東日暮里幼稚園は、子どもたちが通っていた、小学校との連携もあり、素晴らしい園である。	
383	兄妹みんなが通った東日暮里幼稚園を通るたびに楽しかった幼稚園生活を思い出す。なくさないでほしい。	
384	自分にとって思い出が深い幼稚園である、自分の子どももいつか通わせたいのでずっと残っていてほしい。	
385	自分がでた幼稚園がいつまでもあってほしいです。	
386	小学校と連携されてるところがよい。のびのび通えるとてもいい幼稚園だと聞いている。なくならないでほしい。	
387	なくならないでほしい。	
388	楽しく通った幼稚園がなくなるのは悲しい。	

389	園児数が増える様、預かり教育や給食を試みてもからの閉園では遅いのか。			
390	給食と預かりをしてから園児が増加しなければ閉園等、もう一度再考とすることはできないか。			
391	<p>廃止案はあまりにも時期尚早である。</p> <p>区立園の申込み人数が少ないのは預かり教育や給食提供、園バスなどのサービスがないからである。廃止というのは強引すぎるのではないか。幼い子達が遠いところに通うのは大変であり、私立保育園は制服等金銭的な負担がある。保育園に入れるかという希望者全入にはまだ遠い。区立保育園に通いたい方達の受け皿はどこになるのか。</p>			
392	<p>区立幼稚園で預かり教育と給食提供が実施されるようになるなら、保護者が園を選ぶ基準も変わってくると思う。</p> <p>閉園を急ぐのではなく、預かり教育と給食提供ありの区立幼稚園で数年間運営してみる選択肢はないのだろうか。</p>	<p>昨年度は学級編制基準に満たない学級があるなど、区立幼稚園の園児数減少に伴い、これまでに園関係者間や区議会におきましても対応を検討してまいりました。区といたしましても、園児数の減少に関しまして保護者の皆様にこれ以上ご心配をおかけするわけにはいかないと考え、更にこれまで預かり時間の延長や給食の実施につきましてご要望を頂いておりますことから、この度の対応策をお示しさせていただきました。</p> <p>実施にあたり、預かり教育の全園実施につきましても、必要な職員を確保する必要があるため、教員の再配置とともに実施することを想定しております。一方で、給食提供につきましては早期の実現を目指してまいります。</p> <p>これらの取り組みにより、区民の皆様にとって、就労の有無等によらず、区立幼稚園への入園という選択肢が広がるものと考えます。</p>		
393	<p>以前から町屋幼稚園も預かりや給食提供など保護者の意見としてあったはず。それをやらずに急に閉園は納得できない。</p> <p>働いてる方も入れるようにまずは閉園ではなく、預かりや給食の実施を先にしてほしい。</p>			
394	<p>幼稚園の利用者が減り統合や閉園はいずれかの時期で、検討しなければならなくなる事案かなとは思う。</p> <p>ただ、預り教育等の要望が出ているのに改革や実行もせず、いきなりの閉園案に驚いている。</p> <p>(2件)</p>			
395	<p>閉園する前にまずは「給食」や「延長保育」をするべき。私立幼稚園よりも全体的に安価で済むのでかなり需要はあるはず。</p> <p>それでも入園者数が伸びなければ閉園となってしまっても仕方ないと納得できる。</p> <p>町屋幼稚園は小学校と同じ敷地内で連携しておりモデルにもなっているので、ここが閉園するのはとても勿体ない。</p>			
396	保育時間や給食を令和時代に合ったものに変え、それでも幼稚園は必要ないと地域の方の声が多いのであれば、区立幼稚園を減らすことは仕方がないと考える。			

397	園児減少には、少子化と無償化のほかに、給食と延長保育がないことが区立を選ばない理由のひとつ。何年も前から世の中の環境にあわせた対応をしなかった区の責任。週2回ほどの給食提供と条件付きでも延長保育の受け入れがあれば、もっと園児数も増えるはず。まずはそこを全園で試してから閉園を検討しても良いのではないか。	(前ページの続き)
398	すべての区立幼稚園で給食と預かり教育を実施し、それでも園児が増えないようであれば閉園とすればよい。	
399	地区によっては私立幼稚園が近くにないので、閉園措置だけでは通園が負担になる家庭が多くなる。区立幼稚園のメリットとして自宅からの近さを理由に区立幼稚園を選択している家庭が多いので、閉園箇所を増やすのではなくサービス面の改善が急務である。	
400	閉園してから預かり教育を始めるのではなく、どの園でも預かり教育を導入し様子を見るのもありなのではないか。	
401	給食や預かり教育を実際に行うに移して、実施成果が出なければ、閉園を検討するというのが筋ではないか。閉園してから新たな方向性を実施する、というのは明らかにおかしい。	
402	5園の廃止をする前に、教育委員会でも必要だと考えている預かり教育や給食提供を、どちらか1つでも実施してから、今後の対応を考えた方が良いのではないか。	
403	<p>地域バランスという漠然とした理由で閉園する園を決めないでいただきたい。</p> <p>全園において預かり教育の実施、給食提供等開始すれば園児は増加するかもしれない。その時点で閉園する園を検討すべき。</p> <p>保育園の増加、私立幼稚園の無償化が進むなか区立幼稚園の環境が改善されないまま4園の閉園を決めるには早すぎる。</p>	
404	まずは区立幼稚園への入園児数を増やす努力が先であるはず。給食の導入はいつになるのか。具体案を出すべし。それでも園児が減るのならばある程度の廃園は仕方のないこと。いきなり4園だけにするのはどうしても考え直してほしい。	

405	園児数が減っているから廃園ということにも、憤りを感じる。まず、園児数を守る努力をし、全園で延長保育だけでも始められたなら違う結果が得られるはずである。	(前ページの続き)	
406	公立幼稚園に行こうか迷ってる人はだいたい、給食がない、保育時間が短い、保育時間が年少から年長で統一されてない、送迎バスがない、などだと思う。それらを改善しても園児が増えないのであれば廃園せざるをえないと考える。		
407	旧態依然の教育環境を現在のニーズに合わせず変えないまま、募集が増えるよう努力をしないまま入園希望者が少ないからと、廃園を決定することに反対する。		
408	無償化によって減ったことに対して、区としてどのような対応策を考え取り組んできたのか。対策を講じずに数が減っていることだけを取り上げて園数を減らしていくのは納得がいかない。		
409	区立幼稚園の園児数が減少する中で、その対応を疎かにしてきた区の対応を見直すことが、まず、やるべきだと思う。保護者のニーズに合わせた預かり教育などを、全園で実施してから対応することはできないのか。共働きでも幼稚園に入りたい保護者は、近くて預かり保育がある幼稚園を強く求めている。		
410	支援が必要な子どもの受け入れを要請としているが子どもの個性に合わせて幼稚園を決めるという事ができなくなることを危惧する。閉園のご判断は全ての区立幼稚園で給食の提供をして日暮里幼稚園で行われている預かり教育も実施し数年の経緯をもって判断すべき。		
411	閉園を考える前にできることがあるのではないかと。なぜ、閉園予定翌年から給食と預かり教育の実施を検討するのか。これは、区の考えとして公立幼稚園を閉園したいと感じる。できることは、まだあるのではないかと。		
412	入園者一桁が2年続けば閉園と聞いていたが、それが無視されているのではないかと。4園閉園後に預かり、給食を始めるのではなく、まず先に試験的にでも始めて、それから再検討するのは遅いのか。		

413	<p>まず区立幼稚園の預かり時間を15時までにする、水曜日と同じく15時までにするなど、対策をしてから再配置をしても良いのではないか。</p>	<p>(前ページの続き)</p>	
414	<p>区民が求めていることをしっかりと確実に実現して、それでも入園者が減少し続けてしまう、という状況になってから廃園を検討するのが順当だと思う。</p>		
415	<p>区立幼稚園の廃園を決める前に、まずは区立幼稚園の入園希望者を増やすための政策を実行していただきたい。</p> <p>入園希望者が8人に満たなければクラス編制をしないことや、区立幼稚園の廃園の素案を知るだけで、保護者は不安になり、入園できるかわからない園を希望する人は減ってしまうと考える。必ずクラス編制をするなど、区立幼稚園を希望する人が安心できる環境を作してほしい。</p>		
416	<p>小学校に隣接した幼稚園などは閉園せず、小学校との交流、入学までの流れなど特化して何かやっていたいけるのではないではないか。廃園にする前に、できることが他に多くあると思う。</p>		
417	<p>預かり教育を現存の区立幼稚園8園で順次実施する。その上で、学級編制人数に達しなかった園は、閉園とする。預かり教育を行った上で、学級編制人数に達しなかった場合は、閉園を考えていくことで、地域住民の納得もより得られると考える。</p>		
418	<p>延長保育、預かり教育を試みる、給食を試験導入してみるなど、区が努力しても子どもが集まりませんでした、というのなら、ある程度は納得はできる。</p>		

(4) 私立幼稚園との連携に関する意見		
私立幼稚園との連携についての意見		
419	<p>健常の子も特別な支援を必要とする子も、共に遊び 共に学びながら地域の中で育っていくことはとても大切なことで、それが自然な形であってほしいと願う。就学前の集団生活の場で、お互いの個性を認め合い、思いやりながら育っていく日々が区立幼稚園にはあり、それは子どもたちにとって その先の人生の礎となると考える。</p> <p>区立幼稚園を閉園するのであれば、私立幼稚園においても区立幼稚園で実践されている教育がなされることを約束してほしい。</p>	<p>私立幼稚園等に関するご意見、ご要望は、貴重な参考意見として承ります。区では、私立幼稚園等との連携を強化し、幼児教育の充実を図る体制を構築してまいります。</p>
420	<p>私立幼稚園との連携について、営利目的の私立幼稚園と区立とは相いれないものがあると思うが、教諭の質の向上につながるので情報交換等は定期的に来ると良いかもしれない。</p>	
421	<p>区立小学校との併設園では行事等が重ならないよう設定されているが、私立幼稚園と行事等の細かな日程調整ができるのか。すでに保護者会や保育園行事とのバッティングがある状況で、入園者が広範囲になっている私立幼稚園との連携は難しいと考える。</p>	
422	<p>現在は私立幼稚園との連携は、コロナで難しいかと思うが、落ち着いたら歌の発表会などできたら良い。</p>	
423	<p>私立幼稚園の良さを生かしながら、施設や支援児の教育等で交流し、共に小学校へと導いていける環境をつくっていけるとよい。</p>	
424	<p>閉園することにより地域バランスに配慮した再配置ではないと思う。</p> <p>私立幼稚園と連携を取れていないのではないかと。しっかり連携が取れてから考えてほしい。</p>	
特別な支援を必要とする園児の受入れについての意見		
425	<p>特別な支援が必要であっても加配をつけない程度であれば私立幼稚園で対応してもらえる。</p>	<p>私立幼稚園等に関するご意見、ご要望は、貴重な参考意見として承ります。区では、私立幼稚園等との連携を強化し、各園における特別支援に関わる教育環境の充実を図ってまいります。</p>
426	<p>私立幼稚園の補助員制度は私立幼稚園と連携が取れる制度なのか。</p>	
427	<p>私立幼稚園において特別な支援が必要な子の受け入れに対する人員の加配の制度についてこれから検討する予定のようだが、まずは制度を整えて私立幼稚園での運用実績を積むのが先である。</p>	

428	<p>区議会の中で私立幼稚園にも支援員の要請などを活用してもらう事などで連携をとり、サポートするとの発言があった。</p> <p>だが、独自の教育方針がある私立幼稚園が、園の方針などを一から教えなければいけない外部の支援員をどこまで活用してくれるのか。</p>	(前ページの続き)	
429	<p>私立幼稚園が本当に特別な支援が必要な子を受け入れてくれるのか心配である。</p>		
430	<p>誰もが望んだ園に入園し、特別な支援が必要な園児に支援が行き届く事が望ましいが、その対応を私立幼稚園で今後できるのか。</p>		
431	<p>特別な支援を必要とする園児への対応について、私立幼稚園でどれだけのことができるのか。</p>		
432	<p>私立幼稚園では配慮の必要な園児に支援員をつけることに対し、きちんと配慮していただける保証はあるのか。</p>		
433	<p>特別な支援が必要な園児の受け入れについて、区立幼稚園が閉園するなら私立幼稚園にしっかりと指導してほしい。</p>		
434	<p>区立幼稚園は、特別な支援が必要な子どもたちや、海外から来た日本語が分からない子どもにサポートの職員が付くなど、多様な子どもたちの重要な受け入れ先になっている。</p> <p>私立幼稚園では支援員の確保や育成ができているのか。</p>		
435	<p>区立幼稚園の代わりに私立幼稚園が受け入れるといっても、経済効率を優先されないか。</p>		
436	<p>特別な支援が必要な子どもたちが同じような支援が私立幼稚園で得られるとは思えない。</p>		
437	<p>たんぽぽセンターに通っていて私立幼稚園に在籍している子どもは、入園後に障がいがあることがわかった人ばかりであるため、入園前に障がいがあることがわかっている子どもは、置き去りになっている。</p>		
438	<p>私立幼稚園はクラスの人数が多く、特別な支援が必要な子どもが学ぶ環境が整っているとは思えない。そのような幼稚園で、特別支援が必要な園児を任せられるのか。加配をつけたとしてもすぐに対応できるのか。対応できなかった場合どうするのか。</p>		

私立幼稚園の費用負担についての意見		
439	私立幼稚園は制服やバスなど負担する費用はかなりあるので、補助が出るとはいえ、子どもが多い家庭には負担が大きい。	<p>私立幼稚園等に関するご意見は、貴重な参考意見として今後の施策に反映して参ります。また、幼児教育の無償化により、私立幼稚園の入園料、保育料、給食費、預かり保育料の補助があります。(各補助に上限有 預かり保育は条件有)</p>
440	幼児教育・保育が無償化になったとはいえ、私立幼稚園は教育費以外に費用がかかる。閉園によって園の選択肢が減るのは困る。	
441	入学金のない区立幼稚園は転入、転出予定のある世帯にとって非常に助かる。	
442	自宅近くの区立幼稚園が閉園した場合、私立幼稚園では入学金や制服等の費用のほかに、遠足も費用が高い。援助などはあるのか。	
443	地域バランスに配慮した再配置というのは、区立幼稚園が近くなければ私立幼稚園を利用してほしいという風にとらえられるが、私立幼稚園の費用は区立幼稚園の何倍かかるのか。	

(5) その他の意見		
P Rの充実についての意見		
444	今回の方向性の話は、もっと区立幼稚園の良さを周知してからにすべきである。	<p>各園の紹介チラシ等の作成や様々な活動におきまして、各園の保護者の皆様に多大なご尽力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。</p> <p>区ではこれまで各園のホームページへ特色や園だより等を掲載しているほか、区ホームページ、ツイッター、フェイスブック、子育てアプリ、区営掲示板へのポスター掲示により、保育課窓口、認証保育所、保育ママを通じてチラシの配付を行うなど、区立幼稚園の魅力の発信等に努めてまいりました。</p> <p>今後も区で実施しているあらゆる広報媒体を活用し、あらゆる機会をとらえて、積極的、継続的に区立幼稚園の魅力発信してまいります。</p>
445	区立幼稚園が多いことを売りにしていく工夫や、特色をP Rし、区立幼稚園を大切にすべきである。	
446	もう少し認知度を高める為の行動を是非してほしい。 経済も低迷している時期が続いている今こそ、区立幼稚園の良さをアピールしてほしい。	
447	もっと区立幼稚園の良さを荒川区として宣伝して、入園児が増えるように宣伝してほしい。	
448	私立の園とは違う、公立園の考え方を、区がもっとアピールして、子どもたちの保育に何が必要なのか、きちんと知らせられれば、園児は増える。	
449	私立に行かせる考えの方はとても多いと思うが、もっと区立の良さを広める機会があればいいのと思う。	
450	閉園検討する前にもう少しだけ、園に委ねられている集園児対策を、区営幼稚園の魅力を最大限アピール出来る方法を私達と一緒に区の方でも模索してからでも遅くないのではないか。	
451	区立幼稚園の教育方針のすばらしさを区の方からもっとアピールすべきではないか。私立幼稚園は自由に教育方針をアピールできるのに、区立幼稚園は制限されている。	
452	区立幼稚園の園児が減少していると感じた時から今までどのような宣伝活動に取り組み、効果があったか。 また、園児の減少を心配した保護者が園のリーフレットやポスターを作成しているが、こうした活動が保護者の仕事であると考えるか。	
453	預かり教育や給食などを今からでも導入し、「働きながらでも子育てしやすい街、荒川区」をP Rして子育て世帯を呼び込み、荒川区を活性化してほしい。	

454	<p>区立幼稚園のことを知らない方が多いと実感しているため、区が発行している「私立幼稚園ガイド」を、私立だけでなく区立も載せてはどうか。また、入学金や教育費などをより詳細に記載してほしい。</p>	<p>区立幼稚園につきましては、各幼稚園が作成している要覧や、園のホームページに園だよりを掲載し園の特色等を紹介しておりますので、区立幼稚園を区民の皆様により知っていただけるよう、引き続き周知に努めてまいります。</p>	
455	<p>各園でPTAが独自に作成したチラシ等があるが、園の写真、広さ、場所、連絡先、幼稚園からのメッセージ、力を入れていること等、同じ区立幼稚園でも差別化ができると思うので、是非、区立幼稚園ガイドを作成してほしい。園児数を増やす為には絶対に必要なことである。</p>	<p>また、私立幼稚園に係る費用の詳細につきましては、各園の教育内容等と併せて入園の検討をしていただくことが望ましいと考えることから、より詳細な経費につきましては、各園にお問合せいただくことをお勧めしております。</p>	
その他の意見			
456	<p>今回の区立幼稚園の方向性についての素案を、荒川区が7月1日に正式発表する数日前に、荒川区議会議員の一人が自身のツイッターで私見とともに公表していた。</p> <p>それにより、区立幼稚園児童の保護者、幼稚園関係者に衝撃や余計な不安、心配を与えたことに関する責任は重大である。議会より厳重注意をしてほしい。</p>	<p>当該区議個人の活動であるため、区からの回答は差し控えさせていただきます。</p>	
457	<p>保護者や幼稚園教諭、子どもたちがお互いに成長を見守れる、共に悩み喜び合える、という安心感にもつながっている。園行事では地域との関わりもあり、子育てに孤独を感じにくいと思う。それもまた区立幼稚園の素敵なところであり、地域の大切な存在である。</p>	<p>区立幼稚園はこれまで多くの保護者や地域の方々と連携するとともに、幼稚園教諭は研修や研究を通して自己研鑽を重ね、教育の現場で実践してまいりました。その成果として皆様からの支持をいただいておりますことに感謝申し上げます。</p>	
458	<p>東日暮里幼稚園について、幼児教育の充実や園児への対応取組みまた施設の充実について大変素晴らしい園と感じている。</p>		
459	<p>区立幼稚園は入りたいと思えば、年齢に達して、空きがあれば入ることができる。そうした気軽さが区立幼稚園の良さである。</p>		
460	<p>幼稚園時の遠足や地域の活動に参加するのが大好きだった。</p>		
461	<p>園行事を通じて地域に触れ合うことが大好きだった。</p>		

462	<p>1、R6年に4園の募集停止する予定なのに、預かり教育がR9年度から実施という点。</p> <p>2、給食（宅配弁当）の提供がまだ検討段階で、実施の開始確約がない点。時期も不明な点。</p> <p>3、預かり教育が、「保護者が月12日以上、1日4時間以上の就労に従事されている方や、介護、病気療養、産前産後の休業等により保育が必要な方」しか対象にしていない点。</p> <p>以上1～3によって、4園が廃園になったのちに、残った園の募集人員も大幅に増える見込みがうかがえないことから、区は、区立幼稚園の存続を明確に明言せず、将来的には区立幼稚園全体が廃止に追い込まれる危険がある。</p> <p>荒川区には、統一した教育感を持って、持続的に安心できる公教育を提供することを望む。</p>	<p>最終案に記載したとおり、給食の提供については早期に実施することとし、預かり教育やその他の必要な支援につきましても、課題を解決しながら積極的に実施及び検討をし、未長く区民の皆様が必要とされる区立幼稚園にしていまいります。なお、現在日暮里幼稚園でモデル実施している預かり教育は、保護者の就労等の事由によらない利用も可能となっております。</p>	
463	<p>保育園を選定する際、幼保一体となっていて質の高い教育を行っている汐入こども園を希望した。今回の短・中時間保育の廃止により、汐入こども園の教育レベルが低下しないか。</p>	<p>汐入こども園の短・中時間保育の廃止に伴い、汐入こども園は他の区立保育園と同様に保育を実施することになります。保育士や補助員等の配置基準に基づき職員を配置し、園児一人一人に行き届くきめ細やかな保育を継続して実施してまいります。また、クラス定員が減ることにより保育室のスペースに余裕ができることから、様々な活動や遊びを発展させるよう進めてまいります。</p>	
464	<p>汐入こども園は抽選になるため、応募自体やめてしまう方が周囲に複数おり、4歳児から定員を増やすのではなく、3歳児からの枠を増やす方が合理的ではないか。</p> <p>また、幼稚園廃止ではなく、こども園にしたらえれば、保育園不足も幼稚園問題も解消するので、幼保一元化を区が先駆けてモデルケースを示すのもいいのではないか。</p> <p>区外の私立園で時代に合わせて見直している園は人気を集めている。</p>	<p>汐入こども園は短・中時間保育の幼稚園部分と、長時間保育の保育園部分があり、3歳児の短・中時間保育の定員を増やすことは、長時間保育の定員への影響や、教室不足など新たな課題が出てまいります。</p> <p>そうした中、最終案に記載したとおり見直しや新たな取り組みを実施し、未長く区民の皆様が必要とされる区立幼稚園を目指してまいります。</p>	

465	<p>少子化が進んでいるが、少子化対策に力を入れている自治体のように、子育て世代や若い方々に住む場所として選んでもらえるような施策はやっているのか。</p> <p>効率が悪くなった施設を考えることも必要かと思うが、今の子供達が大人になった時、地元に住み続けたいと思える町を目指してほしい。10年やそこらで施設が閉鎖されるようでは、地元愛もふくらまない。</p> <p>同時に、他地区からの転入が増えるような魅力を作り出し、発信してほしい。</p>	<p>区立幼稚園におきましては、最終案に記載したとおり、見直しや新たな取り組みを実施し、未永く区民の皆様が必要とされる区立幼稚園を目指してまいります。</p>	
466	<p>ライフスタイル=仕事ではなく、子育ても含めたライフスタイルを考える方がもっと増えれば、公立幼稚園の需要も今よりは高まるのではないかと。国や自治体には、そのような取り組みも期待する。</p>		
467	<p>私立幼稚園の給食に補助金を出しているが、私立幼稚園に通わせたい人は、お金を出してでも私立幼稚園に通う。補助金を出さなければ、もう少し区立幼稚園に園児が集まるのではないかと。</p>	<p>子どもを産み育てる方の様々な事情やニーズに対応できる子育て支援施策は重要なものであり、区立幼稚園と私立幼稚園や他の保育施設等をそれぞれの家庭で選択することができることは必要なこととの考えに基づき、補助金を支給しております。</p>	
468	<p>入園希望者が減ったから閉園・廃園というのではなく、3歳から5歳の『異年齢混合』にしてはどうか。</p>	<p>幼児期の発達には年齢によらず一人一人様々ですが、幼稚園の目的はその後の教育の基礎を培うことであるため、学級別の学級編制は必要なことと考えます。ただし、異学年交流においても園児にとって良い経験となることも踏まえ、活動内容によって異学年交流も取り入れながら、教育活動に取り組んでいます。</p>	
469	<p>汐入こども園から幼稚園部分を廃止にする検討をしているとの事だが、幼稚園部分を廃止にする事で園としての教育方針の変更はあるか。幼稚園の廃止に伴って、教育方針が変わるような事は避けてほしい。</p>	<p>汐入こども園は、短・中時間部分が廃止になることに関わらず、今後も引き続き一貫した保育に取り組んでまいります。</p>	